Genie
A TEREX BRAND

操作説明書

シリアル番号の範囲

GS™-1432m
GS™-1932m

GS32MD-101 から
GS32MP-101 から
GS32MT-101 から

ANSI/CSA
North America
South America
Asia

メンテナンス情報付き

英語版操作説明書の翻訳
First Edition
Fourth Printing
Part No. 1307419JAGT

目次

はじめに 1
シンボルと危険を表すイラストの定義..... 5
一般的な安全 8
作業員の安全 14
作業場の安全 15
説明..... 23
操作パネル 24
点検..... 27
操作手順 42
輸送および持ち上げの手順..... 56
メンテナンス 61
仕様..... 63

Copyright © 2021 Terex Corporation

初版: 第 4 版、4 月 2023 年

「Genie」は米国およびその他の国における
Terex South Dakota, Inc. の登録商標です。「GS」は
Terex South Dakota, Inc. の商標です。

この機械は以下の規格と準拠しています。
ANSI/SAIA A92.20
CAN/CSA B354.6

はじめに

この説明書について

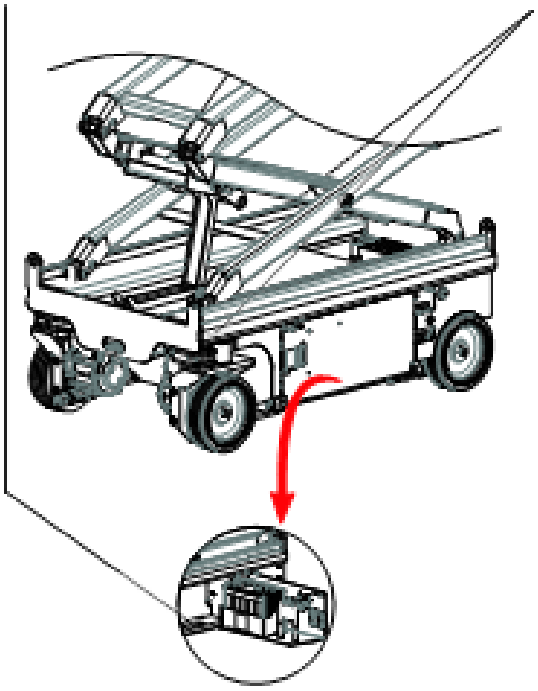
当社の製品をお選びいただき、ありがとうございます。当社はユーザーの安全を最優先に考えており、その達成には皆様のご協力が必要です。本著は、Genie 機械のユーザーもしくはオペレータのための操作および毎日の保守点検説明書となっています。

本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。ご質問等がありましたら、Genie にお問い合わせください。

製品の識別

この機械のシリアル番号はシリアルラベルに記載されています。

シャーシ上に貼付されたシリアルラベル　　シリアル番号はシャーシに記載 .



用途および訓練ガイド

本機械は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることを用途としています。機械を操作する前に、この訓練ガイドを読み、理解することはオペレータの任務です。

- ☑ 各作業員は可動式上昇作業台（MEWP）を操作するためのトレーニングを受けなければなりません。
- ☑ MEWP の訓練は認定され、技能を持ち、トレーニングされた担当者に実施されなければなりません。
- ☑ トレーニングを受け、認定された担当者のみが機械を操作することを許可されなければなりません。
- ☑ 操作説明書の製品取扱説明書と安全規則をよく読み、理解し、従うことはオペレータの任務です。
- ☑ 操作説明書は作業台のマニュアル保管場所にあります。
- ☑ 具体的な製品の適用性に関しては、次のページ記載の**「製造者への連絡」**を参照してください。

はじめに

作業台操作の記号の説明とそれに関連する機械の動作は以下のとおりです。


リフト機能作動ボタン


走行機能作動ボタン


作業台上昇/下降（リフト機能選択時）


走行前進/逆進（走行機能選択時）


操舵右/左（走行機能選択時）


操作範囲、屋内使用ボタン


操作範囲、屋外使用ボタン

地上操作の記号の説明とそれに関連する機械の動作は以下のとおりです。


リフト機能作動ボタン


作業台上昇/下降ボタン

連続機能と動作は以下のとおりです。

- 走行および操舵。

インターロック機能は以下のとおりです。

- 上昇時走行速度。
- 非水平状態での上昇時の走行。
- 全ての作業台および地上操作。

使用の制限は以下の場合です。

- 本機械は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることを用途としています。
- 機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、作業台を上昇させないでください。

はじめに

通知の配布と準拠

製品ユーザーの安全は Genie の最優先事項です。数多くのさまざまな通知は Genie が販売業者および機械の所有者に重要な安全規約と製品情報を知らせるために使用されます。

通知に含まれる情報は、機械モデルとシリアル番号を使用して特定の機械に関連付けられています。

通知の配布は、お客様を担当している販売業者によって記録されている最新の所有者情報に基づいて行われます。そのため、ご利用の機械を登録し、連絡先情報を更新することは重要です。

従業員の安全、使用している機械の継続した安全な操作を保証するために、それぞれの通知に記載されている事項に必ず準拠してください。

ご利用の機械に関する公開されている通知は www.genielift.com にアクセスしてご確認ください。

製造者への連絡

Genie にご連絡いただく必要が出てくる場合があるかもしれません。その場合には、ご利用の機械のモデル番号とシリアル番号、またお客様のお名前とご連絡情報とを合わせて提供いただくためのご準備をお願いいたします。Genie にご連絡いただく事項には最小限であっても以下があります。

事故のご報告

製品の適用性および安全性に関するご質問

標準および法規制の順守情報

機械の所有権の変更、または連絡情報の変更などの現在の所有者情報の更新以下の「所有権の譲渡」を参照してください。

機械所有権の譲渡

所要時間数分で所有者情報を更新していただくと、ご利用の機械に適用する重要な安全、保守および操作に関する情報を取得できます。

www.genielift.com にアクセスしてただくか、またはフリーダイヤル 1-800-536-1800 までご連絡いただき、ご利用の機械をご登録ください。

はじめに



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わなかった場合、死亡または重傷事故の原因となることがあります。

操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を承知し理解する。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品取扱説明書と安全規則 ― 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者は安全に機械操作を行うための適切なトレーニングを受ける。

安全ステッカーの保守

安全ステッカーがない場合または破損している場合は、新しいステッカーを貼付します。常にオペレータの安全に配慮してください。安全ステッカーの汚れを取るには、刺激の少ないせっけんと水を使用します。安全ステッカーの素材を傷つける場合があるため、溶剤を使用したクリーナーを使用しないでください。

危険の分類

製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および注意喚起語を使用しています。



安全警報マーク ― ケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルの安全警告に従ってください。

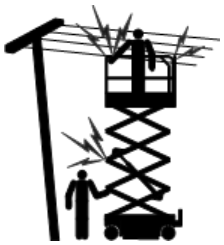
▲ 危険 回避しないと、重傷または死に至る危険があることを示します。

▲ 警告 回避しないと、重傷または死に至る可能性のある危険があることを示します。

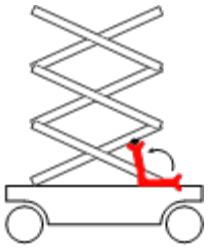
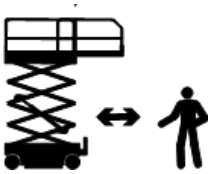
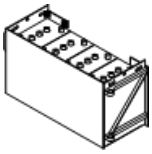
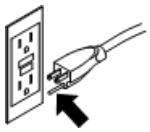
▲ 要注意 回避しないと、軽度または中程度のケガを負う可能性のある危険があることを示します。

注意 物品の損傷に関するメッセージです。

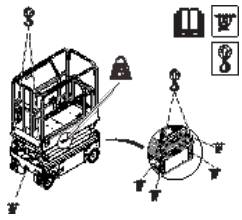
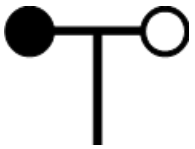
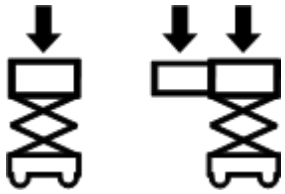
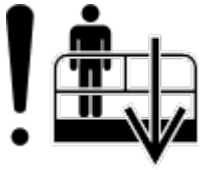
シンボルと危険を表すイラストの定義

				
操作説明書を読んでください	サービスマニュアルを読んでください	挟まる危険	挟まる危険	衝突の危険
				
転倒の危険	転倒の危険	転倒の危険	転倒の危険	感電の危険
				
感電の危険	爆発の危険	火災の危険	やけどの危険	皮膚への噴射の危険

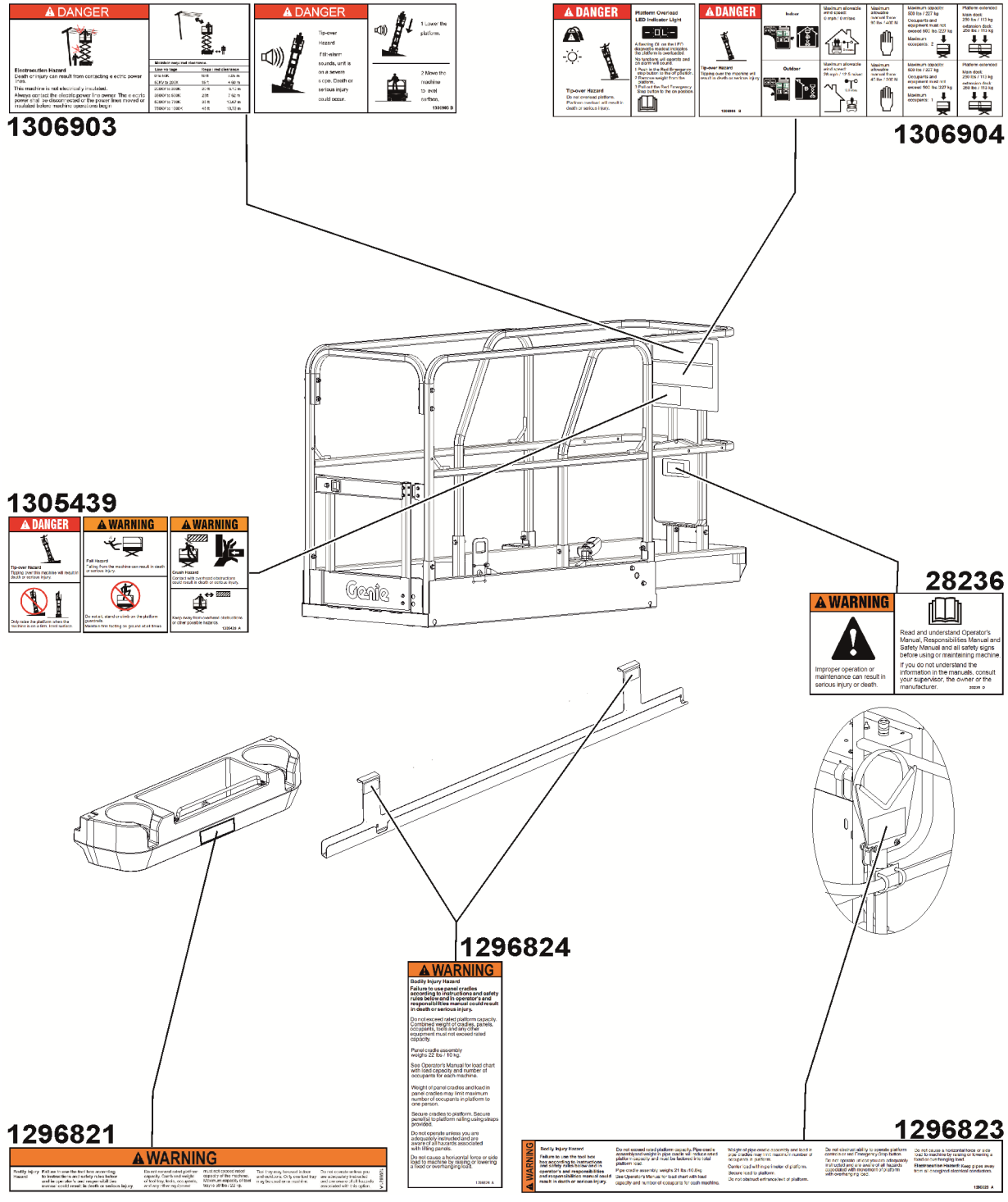
シンボルと危険を表すイラストの定義

 安全アームをセットしてください	 可動部に近づかないでください	 タイヤに近づかないでください	 平らな地面に機械を移動してください	 シャーシ台を閉じてください
 作業台を下げます	 作業台過負荷	 必要な間隔を維持してください	 トレーニングを受け認定された担当者のみによるアクセス	 紙類を使用して漏れを調べてください
 カウンターウェイトとして使用するバッテリー	 輪止めをかましてください	 禁煙。	 接地されている AC 3 ピンのみ	 損傷した電線およびコードを交換してください

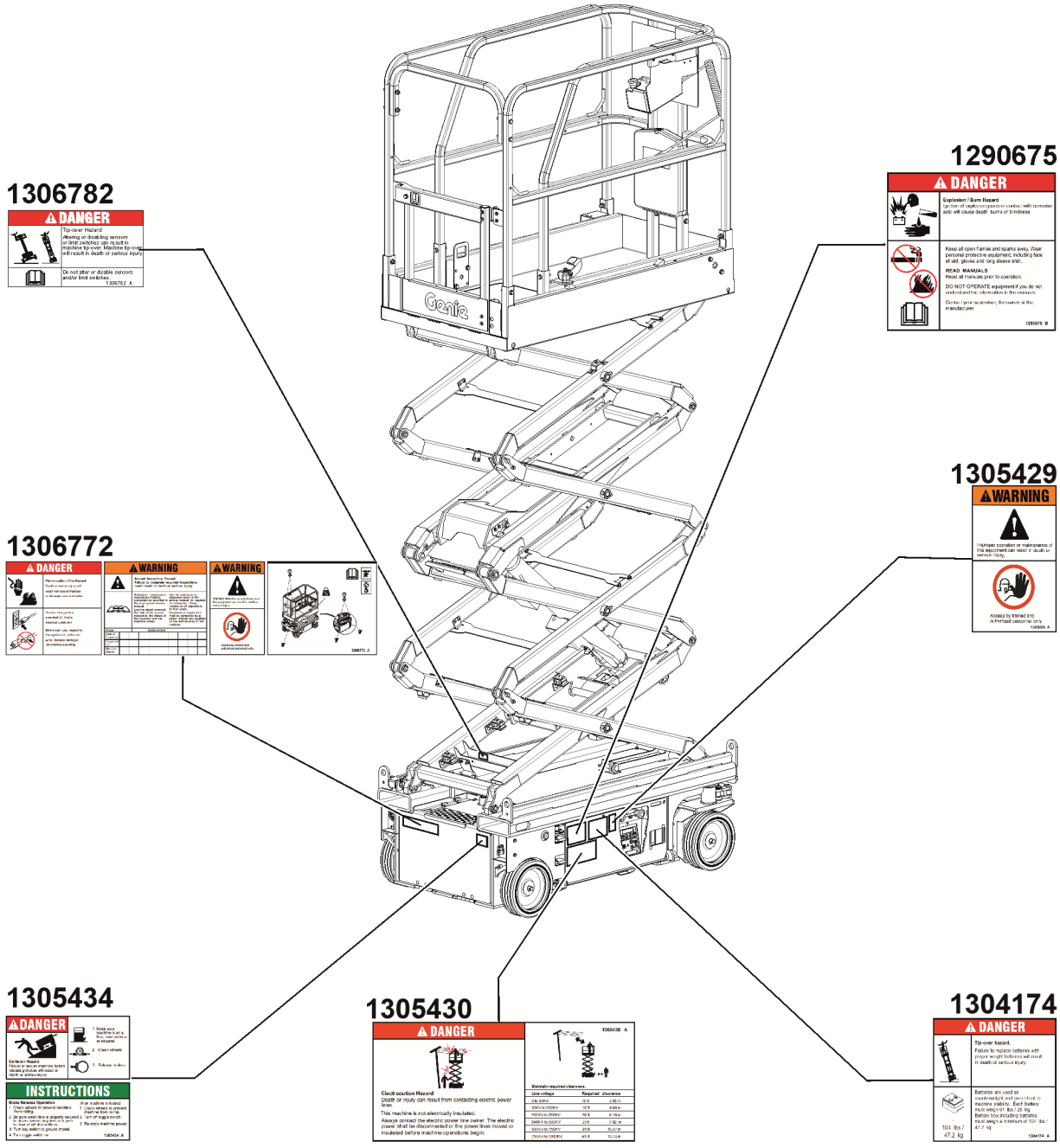
シンボルと危険を表すイラストの定義

 車輪荷重	 吊り上げ&荷締め手順	 吊り上げ点	 安全帯固定場所	 風速
 固定用具	 ブレーキを解除してください	 ブレーキを作動する	 作業台への空気配管の定格圧力	 作業台への電力の定格電圧
 最大積載荷重量		 屋内	 屋外	 外圧
 補助下降				

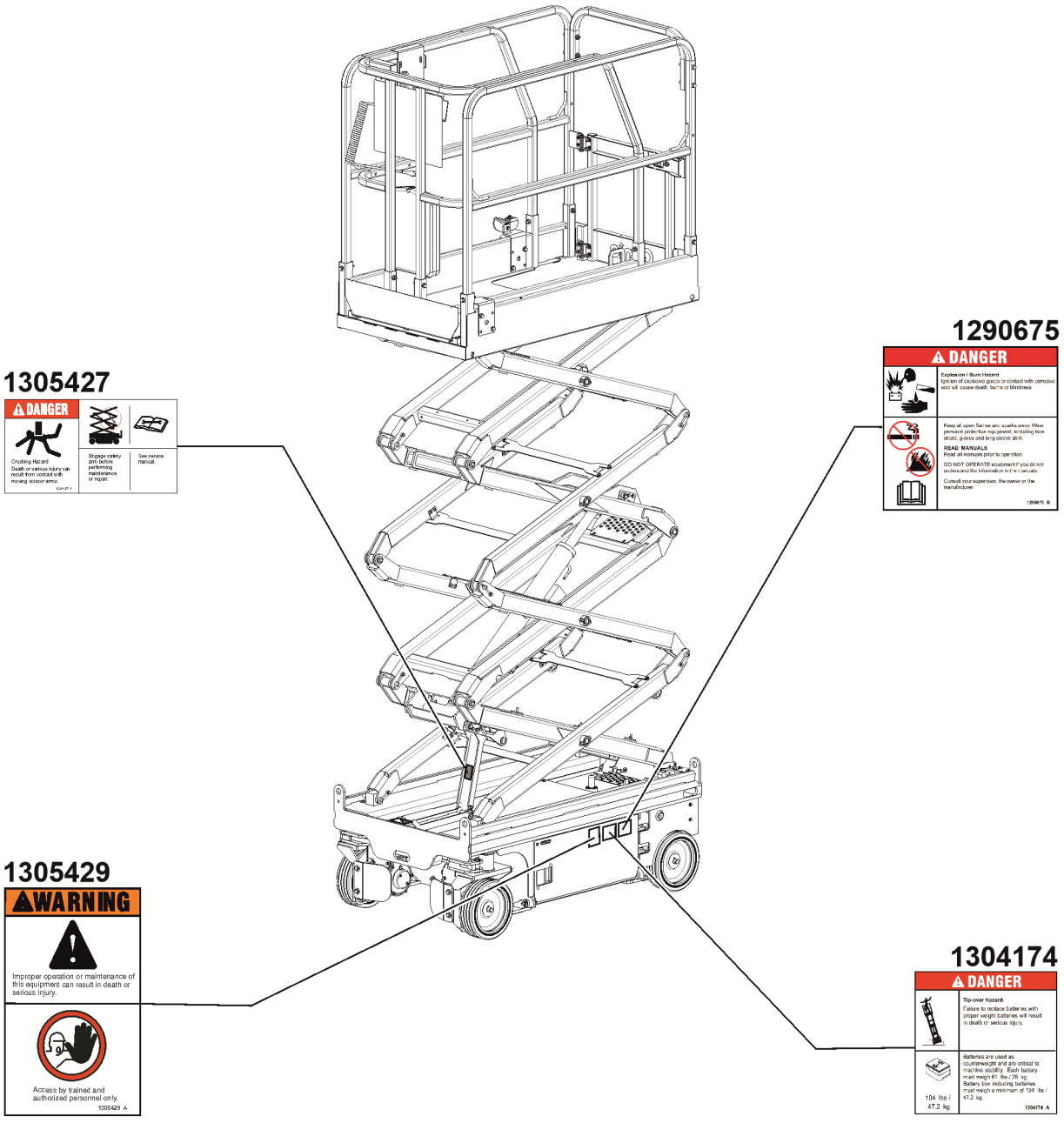
一般的な安全


1306903
1306904
1305439
28236
1296824
1296821
1296823
DANGER
WARNING
Genie

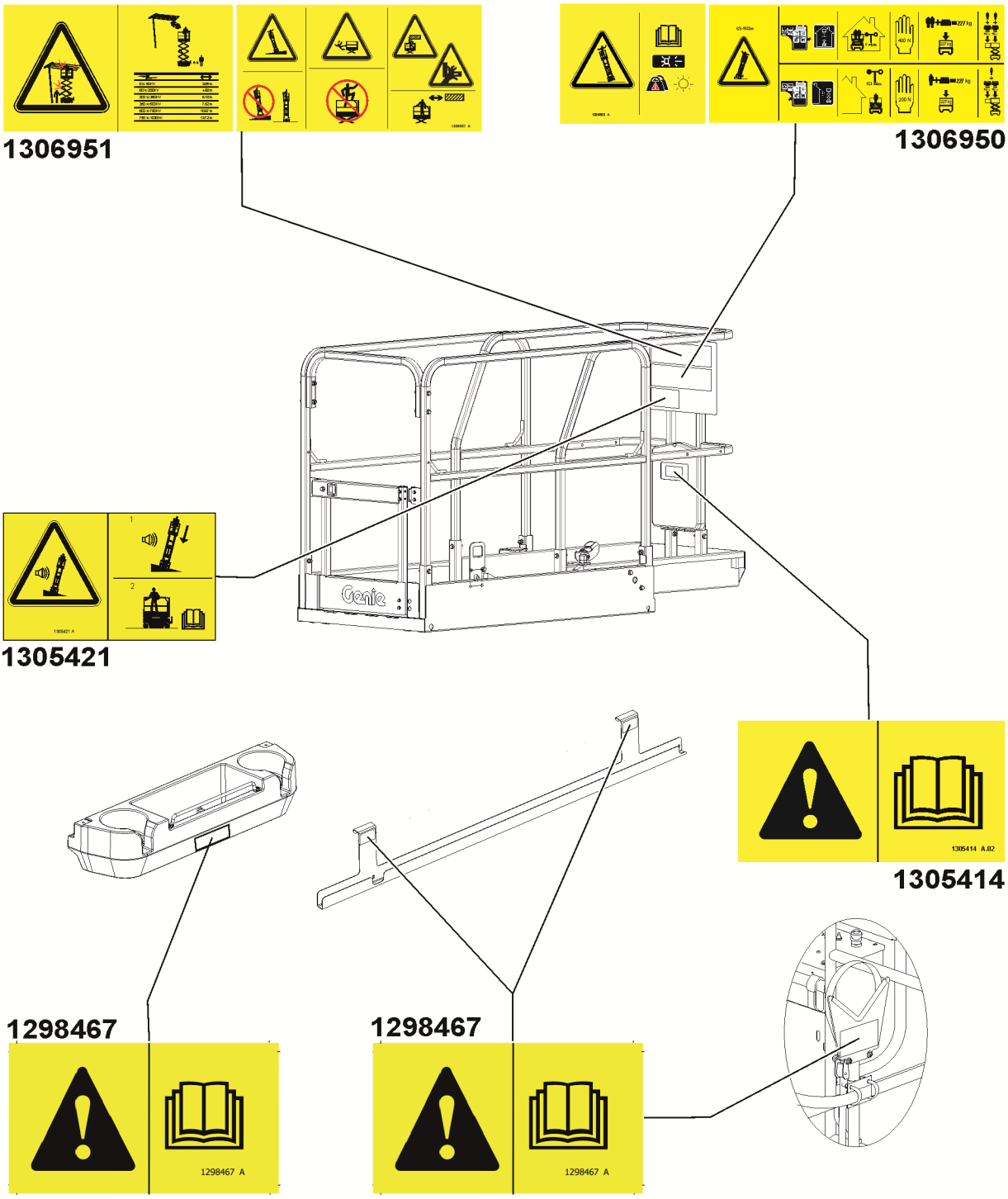
一般的な安全


1306782
DANGER
1290675
DANGER
1306772
DANGER
WARNING
WARNING
1305429
WARNING
1305434
DANGER
INSTRUCTIONS
1305430
DANGER
1304174
DANGER

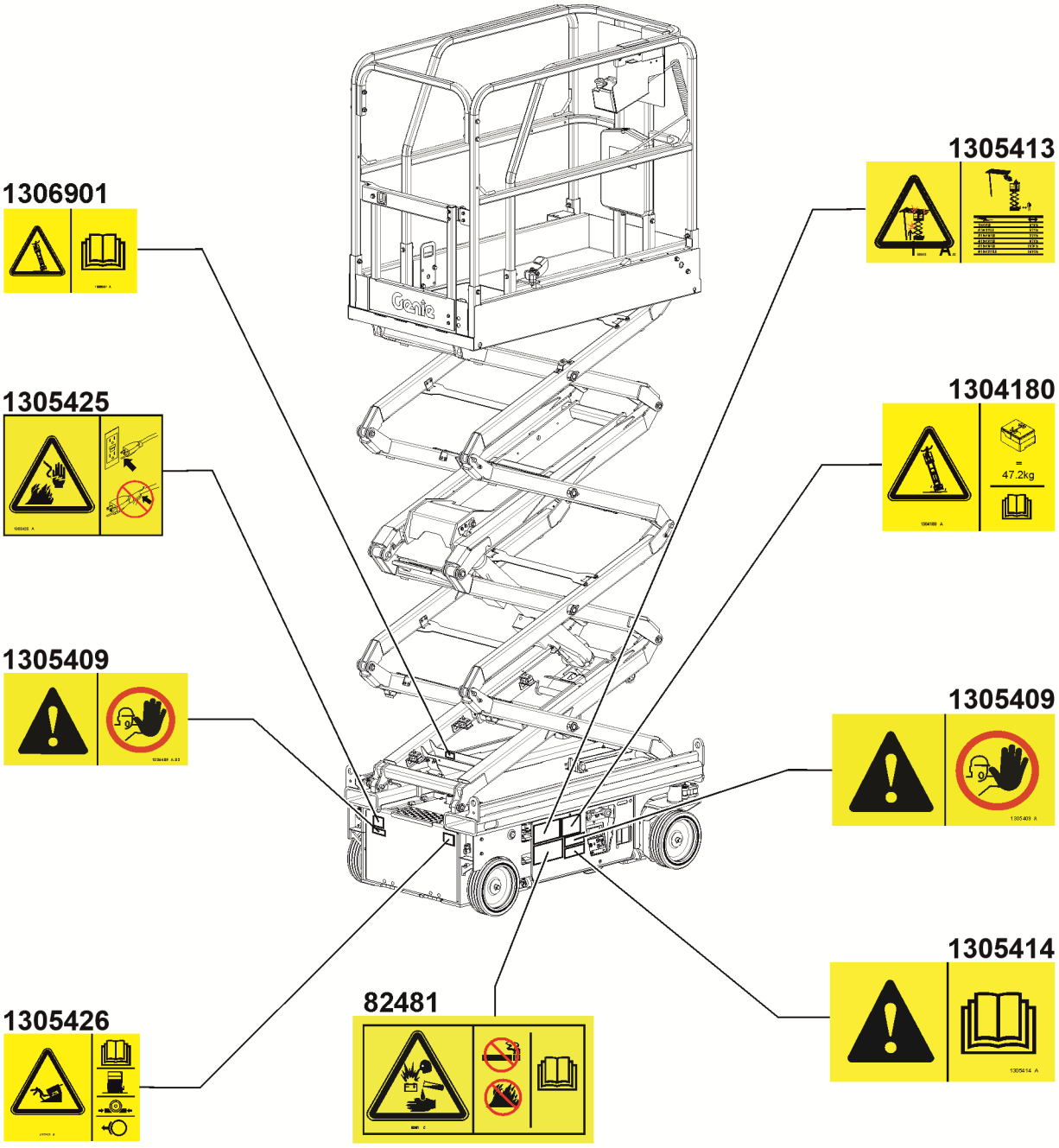
一般的な安全


1305427
DANGER
Crushing Hazard
Death or serious injury can result from contact with moving scissor arms.
Engage safety arm before performing maintenance or repair.
See service manual.
1290675
DANGER
Explosion / Burn Hazard
Ignition of explosive gases or contact with corrosive acid will cause death, burns or blindness
Keep all open flames, arc, sparks away. Wear personal protective equipment, including face shield, gloves and long sleeve shirt.
READ MANUALS
Read all manuals prior to operation.
DO NOT OPERATE equipment if you do not understand the information in the manuals.
Consult your supervisor, the owner or the manufacturer.
1290675 B
1305429
WARNING
Improper operation or maintenance of this equipment can result in death or serious injury.
Access by trained and authorized personnel only.
1305429 A
1304174
DANGER
Tip-over hazard.
Failure to replace batteries with proper weight batteries will result in death or serious injury.
Batteries are used as counterweight and are critical to machine stability. Each battery must weigh 61 lbs / 28 kg.
Battery box including batteries must weigh a minimum of 104 lbs / 47.2 kg.
104 lbs / 47.2 kg
1304174 A

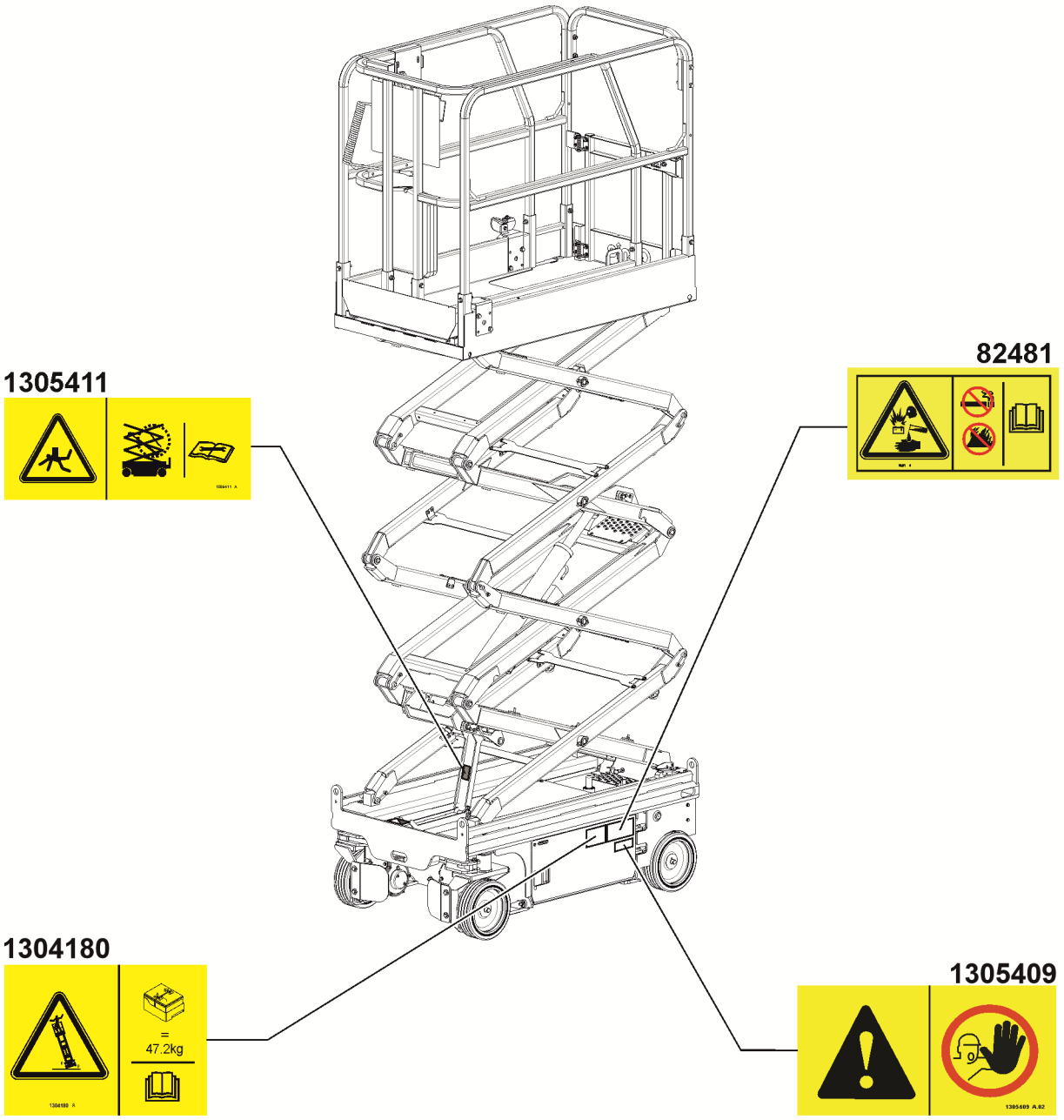
一般的な安全


1306951
1306950
1305421
1305414
1298467
1298467
1298467 A
1298467 A
1305414 A.02

一般的な安全


1306901
1305425
1305409
1305426
82481
1305413
1304180
47.2kg
1305409
1305414

一般的な安全



作業員の安全

作業員の落下防止

この機械を操作するとき、落下防止装置 (PFPE) の着用は必要ありません。PFPE が作業場規則や従業員規則で義務付けられている場合、以下が適用されます。

PFPE はすべて適合する法規に準拠したもので、取扱説明書の指示に従って点検され使用されなければなりません。

作業場の安全

⚠ 感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流との接触または電流への近接に対する保護は施されていません。



電線から離す必要のある距離については、地域および国のすべての規制に従ってください。少なくとも、以下の表に記載の必要距離を空けなければなりません。

線間電圧		必要な距離
0 ～ 50KV	10 ft	3.05 m
50 ～ 200KV	15 ft	4.60 m
200 ～ 350KV	20 ft	6.10 m
350 ～ 500KV	25 ft	7.62 m
500 ～ 750KV	35 ft	10.67 m
750 ～ 1000KV	45 ft	13.72 m

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。



通電している電線に機械が接触している場合は、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで、絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

雷や暴風などの悪天候下では、機械を操作しないでください。

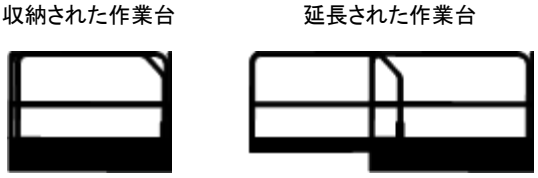
溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

⚠ 転倒の危険

作業員、装備、および機材は、作業台最大積載荷重量または作業台延長時の最大積載荷重量を超えてはなりません。

最大積載荷重量

		延長された作業台		
モデル	収納された作業台	作業台のみ	延長台のみ	最大作業員数
GS-1432m	500 lbs 227 kg	250 lbs 113 kg	250 lbs 113 kg	屋内 – 2 屋外 – 1
GS-1932m	500 lbs 227 kg	250 lbs 113 kg	250 lbs 113 kg	屋内 – 2 屋外 – 1



定格作業台最大積載荷重量には、パネルキャリアーなどのオプションや付属品の重量が含まれるため、作業台積載荷重量からこれらの重量を差し引く必要があります。オプションおよび付属品に付いているステッカーを参照してください。

付属品を使用する場合には、付属品に付いているステッカー、指示およびマニュアルをよく読んで理解し、従ってください。

作業場の安全



機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、作業台を上昇させないでください。



水平位置の指標として傾斜アラームに依存しないでください。傾斜アラームは、機械が急な斜面上にある場合にのみシャーシ上で鳴ります。

傾斜アラームが鳴った場合は、次の操作を行います。
作業台を下げます。機械を安定した平坦な地面に移動します。作業台が上がっている状態で傾斜アラームが鳴った場合、細心の注意を払って作業台を下げてください。

作業台を上げたままの状態で 0.5 mph / 0.8 km/h 以上で走行しないでください。

下記の最大許容側方圧力および最大作業員人数に従ってください。

風速が秒速 28 mph / 12.5 m を超える場合は作業台を上げないでください。秒速 28 mph / 12.5 m 以上の風速のもとで作業台を上げている場合は、作業台を下げ、機械の操作を中止してください。

屋外使用: 屋内使用ボタン選択時には、機械を屋外で操作しないでください。



強風や突風の状況で機械を操作しないでください。作業台や積荷の表面積を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が低下します。



平らでない場所、障害物のある場所、不安定な場所、または滑りやすい場所を、収納した状態で走行しているとき、あるいは、くぼみや急に低くなっている場所の近辺で走行しているときは、細心の注意を払うとともに、機械を減速してください。

水平でない不安定な地面やその他の危険な状況では、作業台を上昇させて機械を走行させないでください。

機械をクレーンとして使用しないでください。

作業台を使って機械や他の物体を押さないでください。

作業台を近辺の建造物に接触させないでください。

作業台を近辺の建造物につながないでください。

作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。

作業場の安全

シャーシ台を開けた状態で機械を操作しないでください。



作業台の外にある物体を押したり、引っ張ったりしないでください。

モデル	最大許容手動力:	最大作業員数
GS-1432m	屋内 – 90 lbs/400 N 屋外 – 45 lbs/200 N	屋内 – 2 屋外 – 1
GS-1932m	屋内 – 90 lbs/400 N 屋外 – 45 lbs/200 N	屋内 – 2 屋外 – 1

リミットスイッチを改造したり、使用不能にしたりしないでください。

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に影響する部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

工場出荷時に機械に搭載されているバッテリーより軽いバッテリーを使用しないでください。バッテリーはカウンターウェイトとして使用されており、機械の安定性に不可欠です。バッテリーの重量はそれぞれ最低 61 lbs/28 kg でなければなりません。バッテリーを含めたチャージャートレイの重量は最低 108 lbs/49 kg、バッテリーを含む G-CON トレイの重量は最低 105 lbs/48 kg でなければなりません。

製造元の書面による事前の許可なしに、可動式上昇作業台を変更、または改造しないでください。工具や他の機材を収納するためのアタッチメントを作業台、踏み板、またはガードレールに取り付けると、作業台の重量および作業台や積荷の表面積を増大させます。



機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。



はしごや足場を作業台に設置しないでください。また、本機械のどの部分にも立てかけないでください。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

動いている、または動く可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

タイヤがすべて良好な状態にあり、みぞ付きナットが適切に締められ、止めピンが適切に設置されていることを確認してください。

作業場の安全

⚠ 手のケガの危険

手や腕をシザーズに近づけないでください。

手摺りを折りたたんでいる間は手を近づけないでください。

作業台の下または、安全アームがないシザー リンク内で作業しないでください。

地上からコントローラを使って機械を操作する際は、常識的な判断をもって行ってください。オペレータ、機械、固定物との間には安全な距離を保ってください。

⚠ 傾斜面での操作の危険性

注記:定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。

モデル	最大勾配の定格値、収納状態	最大定格横勾配、収納状態
GS-1432m	25%(14°)	25%(14°)
GS-1932m	25%(14°)	25%(14°)

注記:定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。

⚠ 落下の危険

手摺りは落下防止用です。もし作業台にいる作業員が作業場規約や従業員規約により落下防止装備(PFPE)を着用する必要がある場合は、PFPE 装備とその使用方法は PFPE 製品メーカーの指示や適合する法規に従って実施してください。備え付けられている承認された安全帯取り付け場所を使用してください。



作業台の手摺りの上に座ったり、立ったり、登ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。



作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

ゲートが開いている場合は、ゲートを閉じてください。

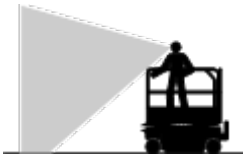
手摺りがしっかりと設置され、出入口がしっかりと閉められるまでは、機械を操作しないでください。

機械が作業台収納位置にない場合は、作業台に入ったり作業台から出たりしないでください。

機械が高い位置の時に作業員が機械から出ようとする特定の場合の危険性については、設計の時に想定されています。詳細は Genie にお問い合わせください(「製造者への連絡」を参照)。

作業場の安全

⚠ 衝突の危険



走行中または操作中は、視界の限度および死角に注意してください。

機械を移動する際は延長作業台の位置に注意してください。

ブレーキを解除する場合は、必ず機械を平坦な地面で停止して輪止めをかます、または固定してから行ってください。

作業員は、安全装備の使用において、従業員規則、作業場規則、および適合する法規に従わなければなりません。



作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手を挟まないよう注意してください。

作業台操作の色別方向矢印および走行とステアリング機能用の作業台ステッカープレートをよく見ながら、操作してください。



作業台を下げるときは、必ず作業台の下に人がいないこと、また障害物になるものがないことを確かめてから行ってください。



路面の状態、交通量、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものに従って、走行速度を制限してください。

頭上で作動中の機械あるいはクレーンの軌道上においては、クレーンの制御がロックされ、さらに衝突を防ぐための予防措置がとられていない限り、機械を操作しないでください。

機械の操作時は、危険な走行や乱暴な運転をしないでください。

作業場の安全

⚠ 人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に染み込んだり、やけどを負う原因となります。

カバーの下の部品に不用意に触れると重傷を負うことがあります。適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。オペレータは、作業前の点検を行うときのみにこれらのコンパートメントにアクセスしてください。機械の操作中は、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

⚠ 爆発と火災の危険

可燃性ガス、爆発性ガス、もしくは微粒子が存在する危険な場所では、機械を操作したり、バッテリーを充電したりしないでください。

⚠ 機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて、作業を中止してください。

本説明書と Genie サービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、機械の保管場所に保管されているようにしてください。

⚠ 部品の損傷の危険

バッテリーの充電には、24V トより高い電圧の充電器を使用しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

作業場の安全

⚠ バッテリーの安全管理

やけどの危険



バッテリーには酸が入っています。バッテリーを扱うときには、必ず保護服と保護メガネを着用してください。

バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

充電中はバッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

爆発の危険







火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放出します。

バッテリートレイは、充電中は開いたままの状態にできます。

バッテリー端子またはケーブル留め金に金属製の工具で触れると火花を発することがあります。工具を使用するときは、接触させないように注意してください。

部品損傷の危険

バッテリーの充電には、24V トより高い電圧の充電器を使用しないでください。

感電/やけどの危険



充電器は、接地されている AC 3 ピン電気コンセントにのみ接続してください。

コード、ケーブルおよび配線の損傷を毎日点検してください。破損している部品は操作する前に取り替えてください。

バッテリー端末への接触による感電に注意してください。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

転倒の危険

工場出荷時に機械に搭載されているバッテリーより軽いバッテリーを使用しないでください。バッテリーはカウンターウェイトとして使用されており、機械の安定性に不可欠です。バッテリーの重量はそれぞれ最低 61 lbs/28 kg でなければなりません。バッテリーを含めたチャージャートレイの重量は最低 108 lbs/49 kg、バッテリーを含む G-CON トレイの重量は最低 105 lbs/48 kg でなければなりません。

持ち上げ時の危険

バッテリーを持ち上げるときは、適切な人数と手段で行ってください。

作業場の安全

使用後のロックアウト

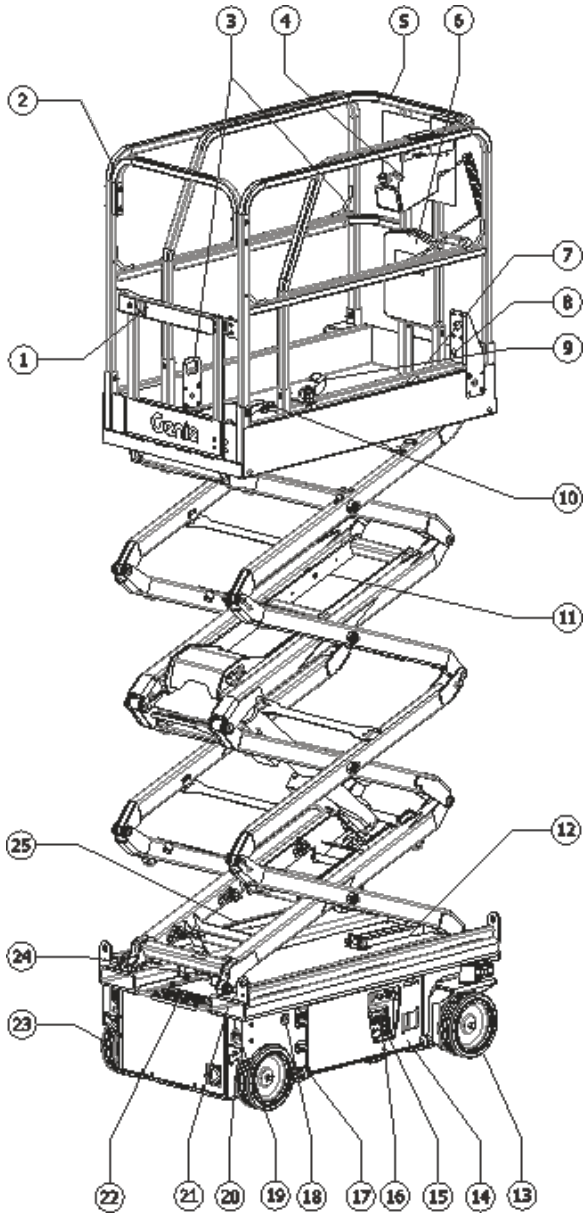
1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 作業台を下げます。

3 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

4 バッテリーを充電します。

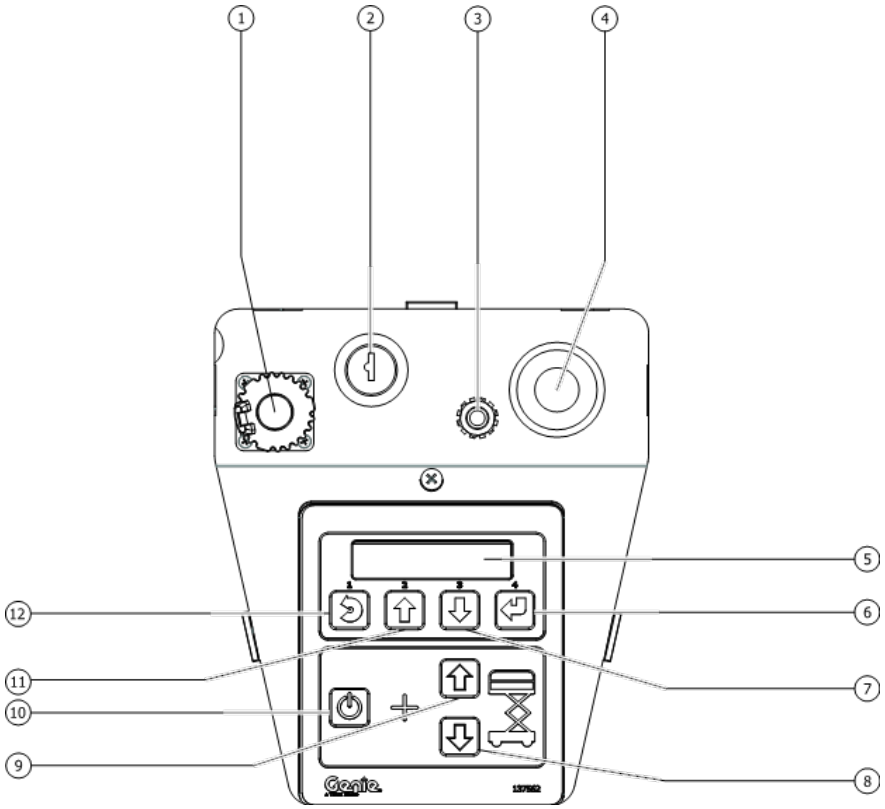
説明



1 作業台出入口ゲート
2 作業台手摺り
3 安全帯固定場所
4 作業台操作パネル
5 作業台延長部
6 マニュアル保管場所
7 ペダルスイッチ（搭載されている場合）
8 GFCI コンセント
9 作業台延長解除ペダル
10 作業台への空気配管（オプション）
11 インバーター（オプション）
12 安全アーム
13 操舵輪
14 傾斜アラーム
15 地上操作パネル
16 LCD 計測値表示
17 ポットホール ガード
18 点滅ビーコン
19 ブレーキ解除スイッチ（油圧側）（E ドライブ・オプション）
20 輸送用の荷締め
21 フォークリフトポケット
22 出入口はしご/輸送の荷締め
23 非操舵側タイヤ
24 補助下降ノブ
25 バッテリー充電器（機械のバッテリー側）

操作パネル

地上操作ステーションは、機能テストおよび保管のための上昇手段として使用します。地上操作ステーションは、非常事態の際に、作業台に閉じ込められた作業員を救出するために使用することができます。



地上操作パネル

1 Tech Pro Link コネクター

2 作業台/オフ/地上操作選択用キースイッチ
キースイッチを作業台の位置に回すと、作業台操作パネルが作動します。キースイッチを OFF の位置に回すと、機械はオフになります。キースイッチを地上位置まで回すと、地上操作が作動します。

3 電気回路用 7A ブレーカー

4 赤色非常停止ボタン
赤色非常停止ボタンを押し込んで OFF の位置にすると、全機能が停止します。機械を操作するには、赤色非常停止ボタンを引いて ON の位置にします。

5 LCD 診断表示

6 メニュー 確定 ボタン

7 メニュー 下降 ボタン

8 作業台下降ボタン

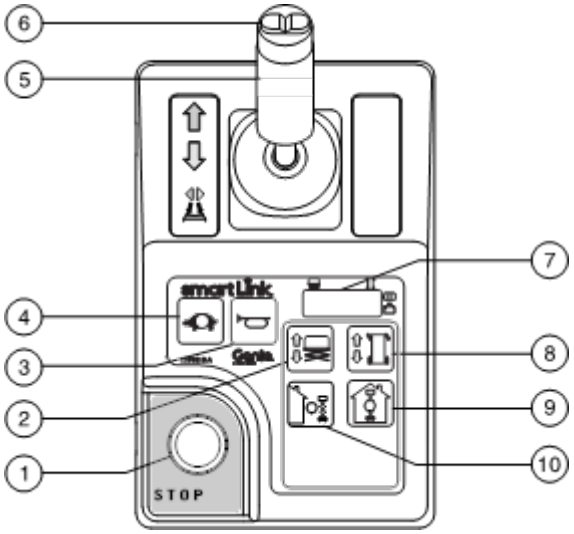
9 作業台上昇ボタン

10 リフト機能作動ボタン
このボタンを押したままにすると、リフト機能が作動します。

11 メニュー 上昇 ボタン

12 メニュー 中断ボタン

操作パネル



作業台操作パネル

1 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押し込んで OFF（オフ）の位置にすると、全機能が停止します。赤色非常停止ボタンを引いて ON（オン）の位置にして、機械を操作します。

2 リフト機能ボタン

このボタンを押すと、リフト機能が作動します。



3 ホーンボタン

ホーン ボタンを押すと、ホーンが鳴ります。ホーン ボタンを離すと、ホーンが鳴り止みます。



4 走行速度選択ボタン

このボタンを押して、低速走行機能を作動させます。低速が選択されているとき、表示ランプがオンになります。



操作パネル

5 走行、ステアリングおよびリフト機能用の比例制御ハンドルおよび機能作動スイッチ

リフト機能：機能作動スイッチを押したままにすると、作業台操作ハンドルのリフト機能が作動します。コントロール ハンドルを青い矢印の方向へ動かすと、作業台が上がります。コントロール ハンドルを黄色の矢印の方向へ動かすと、作業台が下がります。作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

走行機能：機能作動スイッチを押したままにすると、作業台操作ハンドルの走行機能が作動します。コントロール ハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に動かすと、青い矢印が指す方向へ機械が動きます。コントロール ハンドルを操作パネルの黄色の矢印の方向に動かすと、黄色の矢印が指す方向へ機械が動きます。

6 ステアリング機能用サムロッカースイッチ

サムロッカーの左側を押すと、機械は作業台操作パネル上の青い三角印の方向を向きます。



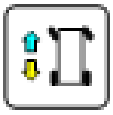
サムロッカーの右側を押すと、機械は作業台操作パネル上の黄色い三角印の方向を向きます。



7 LED 診断表示、バッテリー充電表示器およびリフト/走行モード表示器

8 走行機能ボタン

このボタンを押すと、走行機能が作動します。



9 屋内使用ボタン

屋内で使用するには、このボタンを押します。

注記：屋内使用を選択すると、屋内用の作業台の最大高さまで上昇することができます。仕様のページを参照してください。



10 屋外使用ボタン

屋外で使用するには、このボタンを押します

注記：屋外使用を選択すると、屋外用の作業台の最大高さまで上昇することができます。仕様のページを参照してください。



点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

操作前の点検の基本

操作前の点検と規定メンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定メンテナンスが必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書で指定されている規定メンテナンス項目のみを行ってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

損傷もしくは工場出荷時の状態からの無許可での改造を発見した場合は、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者がメーカーの製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

点検

操作前の点検

- ❑ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。
- ❑ すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあるか確認します。「点検」のセクションを参照してください。
- ❑ 作動油の漏れがなく、量が適当であることをチェックしてください。必要に応じてオイルを補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかをチェックします。必要に応じて蒸留水を補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックしてください。

- ❑ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❑ 油圧ホース、フィッティング、 シリンダー、マニフォールド
- ❑ 駆動モーター
- ❑ 磨耗板
- ❑ タイヤとホイール
- ❑ リミットスイッチ、アラームと警報
- ❑ アラームとビーコン（装備されている場合）
- ❑ ナット、ボルト、他の締め具
- ❑ ブレーキ解除部品
- ❑ 安全アーム
- ❑ 作業台延長部
- ❑ シザースピンと固定ファスナー
- ❑ 作業台操作ジョイスティック
- ❑ バッテリーパックと接続
- ❑ アース用ストラップ
- ❑ 作業台出入口ゲート
- ❑ ポットホール ガード
- ❑ 安全帯固定場所
- ❑ 作業台過負荷コンポーネント

機械全体にわたって下記をチェックします。

- ❑ 溶接や機械部品の割れ
- ❑ 機械のへこみと故障
- ❑ 過度のさび、腐敗または酸化

- ❑ 機械を構成している全ての部品が欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にあることを確認します。
- ❑ 側面レールが設置され、ボルトが締まっていることを確認します。
- ❑ シャーシ台が正しい位置に設置され、ラッチで留められ、バッテリーが適切に接続されていることを確認します。

注記：機械を検査するために作業台を上げなければならない場合は、安全アームが所定の位置にあることを確認します。「操作手順」のセクションを参照してください。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

機能テストの基本

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従ってすべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了後、オペレータは機械を使用する前に、操作前の点検と機能テストを再度実行してください。

点検

地上操作の場合

1 テストを行う場所として、障害物がなく、安定した平坦な場所を選びます。

2 バッテリーが接続されていることを確認します。

3 作業台と地上にある両方の赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) にします。

4 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

5 作業台操作パネルにある診断 LED の表示を確認します。

⊙ 結果:LED は下の図のように表示されているはずです。



6 地上操作パネルにある診断 LCD の表示を確認します。

⊙ 結果:LCD は下の図のように表示されているはずです。



非常停止のテスト

7 地上操作の赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) にします。

⊙ 結果:機能は何も作動しません。

8 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

上昇/下降機能のテスト

この機械の警告音と標準ホーンはすべて同じ中央アラームから発せられます。ホーンは継続音です。下降アラームは毎分 60 回のビープ音を鳴らします。ポットホールガードが位置についておらず、機械が水平でない場合はアラームは毎分 180 回のビープ音を鳴らします。オプションで自動車のクラクションと同様のホーンを搭載することもできます。

9 リフト機能作動ボタンを押さないでください。

10 作業台上昇または作業台下降ボタンを押します。

⊙ 結果:リフト機能は作動しません。

11 作業台上昇または作業台下降ボタンを押さないでください。

12 リフト機能作動ボタンを押します。

⊙ 結果:リフト機能は作動しません。

13 リフト作動ボタンを押したままで、作業台上昇ボタンを押します。

⊙ 結果:屋外操作範囲が選択され、作業台は上昇します。

14 リフト作動ボタンを押したままで、作業台下降ボタンを押します。

⊙ 結果:作業台が下降します。作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

点検

補助降下のテスト

15 リフト作動ボタンと作業台上昇ボタンを押して、上昇機能を作動させ、作業台を 2 ft / 60 cm ほど上昇させます。

16 ボトムリンクの後部にある補助下降ノブを引きます。

⊙ 結果:作業台が下降します。下降アラームは鳴りません。

傾斜センサーのテスト

17 地上操作下降ボタン(ボタン 3)を押してください。



⊙ 結果:地上操作の LCD 画面には傾斜センサーの状態が表示されます。

18 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

作業台操作

非常停止のテスト

19 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

⊙ 結果:機能は何も作動しません。

傾斜センサーのアラームのテスト

20 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

21 ホーンボタンを押します。

⊙ 結果:作業台アラーム、シャーシアラームおよび自動車ホーン(搭載されている場合)が鳴ります。

機能作動スイッチと上昇/下降機能のテスト

22 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしないでください。

23 コントロール ハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果:機能は何も作動しません。

24 リフト機能ボタンを押します。

25 リフト機能がタイムアウトするまで 7 秒間待機します。

26 コントロール ハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果:リフト機能は作動しません。

点検

27 リフト機能ボタンを押します。

28 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。コントロール ハンドルを青い矢印の方向へゆっくりと動かします。

ペダルスイッチ装備の機械の場合:ペダルスイッチを押したままにし、コントロール ハンドルの機能作動スイッチを同時に押します。

⊙ 結果:作業台が上昇します。ポットホール ガードが位置につきます。屋外使用ボタンが点灯します。

29 コントロール ハンドルを離します。

⊙ 結果:作業台の上昇が止まります。

30 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。コントロール ハンドルを黄色い矢印の方向へゆっくりと動かします。

⊙ 結果:作業台が下降します。作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

屋外使用ボタンのテスト

31 コントロールハンドルの機能作動スイッチを押したままにしないでください。

32 屋外使用ボタンを押します。

⊙ 結果:屋外ボタンの下の LED が点灯します。

33 リフト機能作動ボタンを押します。

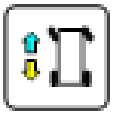
34 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。コントロール ハンドルを青い矢印の方向へゆっくりと動かします。

⊙ **GS-1432m**:結果:作業台は最大の 12 ft 0 in/3.66 m まで上昇し、停止する必要があります。アラームが鳴ります。作業台操作パネルの LED 表示には OHL と表示されます。

⊙ **GS-1932m**:結果:作業台は最大の 15 ft 0 in/4.57 m まで上昇し、停止する必要があります。アラームが鳴ります。作業台操作パネルの LED 表示には OHL と表示されます。

走行機能ボタンのテスト

35 走行機能ボタンを押します。



36 走行機能がタイムアウトするまで 7 秒間待機します。コントロール ハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果:機能は何も作動しません。

点検

ステアリングのテスト

注記:ステアリングと走行機能テストを実施する際、作業台上で機械のステアリング側に向かって立ってください。

37 走行機能ボタンを押します。



38 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

39 コントロールハンドルの上部にあるロッカースイッチを、操作パネルの青い三角の示す方向に押します。

⊙ 結果:ステアリング ホイールが、青色三角形の示す方向に向きます。

40 コントロール ハンドルの上部にあるロッカースイッチを、操作パネルの黄色の三角形の示す方向に押します。

⊙ 結果:ステアリング ホイールが、黄色三角形の示す方向に向きます。

走行とブレーキのテスト

41 走行機能ボタンを押します。



42 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

ペダルスイッチ装備の機械の場合:ペダルスイッチを押したままにし、コントロール ハンドルの機能作動スイッチを同時に押します。

43 コントロール ハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、コントロール ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果:機械は操作パネル上の青い矢印の方向に動き、その後コントロール ハンドルがセンターポジションに戻ると急停止します。

44 コントロール ハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、コントロール ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果:機械は操作パネル上の黄色の矢印の方向に動き、その後コントロール ハンドルがセンターポジションに戻ると急停止します。

注記:ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

点検

走行傾斜カットアウトのテスト

注記:このテストは地上から作業台操作で行ってください。作業台には立たないでください。

45 作業台を完全に下げます。

46 シャーシ角度が側面からもう一方の側面まで 1.5°以上になる傾斜面で機械を走行します。

47 作業台を約 9 ft/2.74 m 上昇します。

⊙ 結果:作業台が止まり、傾斜アラームが毎分 180 回のビープ音を鳴らします。作業台操作パネルの LED に LL が表示され、地上操作 LCD に LL: Machine Tilted(LL: 機械が傾いている)が表示されます。

48 走行機能ボタンを押します。



49 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

50 コントロール ハンドルを青い矢印の方向に動かした後、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果:走行機能はどちらの方向にも作動しません。

51 作業台を完全に下げます。

52 機械を走行します。

⊙ 結果:機械は走行します。

53 機械を水平な地面に戻し、作業台を約 9 ft/2.74 m より高く上昇させます。

54 ピッチ角度が側面からもう一方の側面まで 1.5°以上になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果:機械のシャーシ傾斜が 1.5°になると、機械は停止し、傾斜アラームは毎分 180 回のビープ音を鳴らします。作業台操作パネルの LED 表示には LL と表示され、地上操作パネルの LCD に LL:Machine Tilted(LL: 機械が傾いている)が表示されます。

55 水平な地面に戻し、作業台を完全に下降します。

56 シャーシ角度が前方から後方まで 3°以上になる傾斜面で機械を走行します。

57 作業台を約 9 ft/2.74 m 上昇します。

⊙ 結果:作業台が止まり、傾斜アラームが毎分 180 回のビープ音を鳴らします。作業台操作パネルの LED 表示には LL と表示され、地上操作パネルの LCD に LL:Machine Tilted(LL: 機械が傾いている)が表示されます。

58 走行機能ボタンを押します。

59 コントロール ハンドルの走行・ステアリング機能作動スイッチを押したままにします。

60 コントロール ハンドルを青い矢印の方向に動かした後、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果:走行機能はどちらの方向にも作動しません。

点検

61 作業台を完全に下げます。

62 機械を走行します。

⊙ 結果:機械は走行します。

63 機械を水平な地面に戻し、作業台を約 9 ft/2.74 m より高く上昇させます。

64 ピッチ角度が前方から後方まで 3°以上になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果:機械のシャーシ傾斜が 3°になると、機械は停止し、傾斜アラームは毎分 180 回のビープ音を鳴らします。作業台操作パネルの LED 表示には LL と表示され、地上操作パネルの LCD に LL:Machine Tilted(LL: 機械が傾いている)が表示されます。

65 作業台を完全に下げ、水平な地面に戻します。

上昇時走行速度のテスト

66 作業台を地上約 9.1 ft/2.78 m まで上昇します。

67 走行機能ボタンを押します。



68 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果:作業台が上昇した状態での最大走行速度は 0.72 ft / 22 cm/s を越えてはいけません。

作業台を上げた状態での走行速度が 0.72 ft / 22 cm/s を超える場合、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

ポットホール・ガードのテスト

注記:作業台が上昇するとポットホール ガードが自動的に位置につきます。ポットホール ガードがリミット スイッチを作動させ、機械は引き続き機能します。ポットホール ガードが位置につかないときは、アラームが鳴り機械は走行しません。

69 作業台を上昇させます。

⊙ 結果:作業台が地上約 4 ft /1.2 m まで上がったら、ポットホール・ガードが位置につきます。

70 片側のポットホール ガードを押し、その後もう一方を押します。

⊙ 結果:ポットホール ガードは動きません。

71 作業台を下げます

⊙ 結果:ポットホール ガードが閉じた状態になります。

72 太さが 2x4 in / 5x10 cm 程度の材木をポットホール ガードの下に置きます。

73 作業台を上昇させます。

⊙ 結果:作業台が地上から 7 ft /2.1 m の位置まで上昇する前に、アラーム音が鳴ります。作業台操作パネルの LED に PHS が表示されます。地上操作 LCD に PHS: Pothole Guard Stuck(PHS:ポットホールガードが引っかかって いる)が表示されます。

74 走行機能ボタンを押します。



点検

75 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

76 コントロール ハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果:機械は前にも後ろにも動きません。

77 走行機能ボタンを押します。



78 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

79 コントロールハンドルの上部にあるサムロッカースイッチを、操作パネルの青い三角印および黄色い三角印の示す方向に押します。

⊙ 結果:ハンドルは右にも左にも動きません。

80 作業台を完全に下げます。

81 2x4 in / 5x10 cm ほどの木片を取り除きます。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

作業場の点検の基本

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、セットアップ、運転の際に注意を払い、危険を回避してください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、これらを回避してください:

- ❑ 急に低くなっているところ、くぼみ
- ❑ でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- ❑ 傾斜面
- ❑ 不安定な地面、滑りやすい地面
- ❑ 頭上の障害物、高圧送電線
- ❑ 危険な場所
- ❑ 機械の重量に耐えられない地面
- ❑ 風や天候の状態
- ❑ 関係作業員以外の人の存在
- ❑ その他、起こりうる危険な状態

点検

警告用語付きステッカーの点検

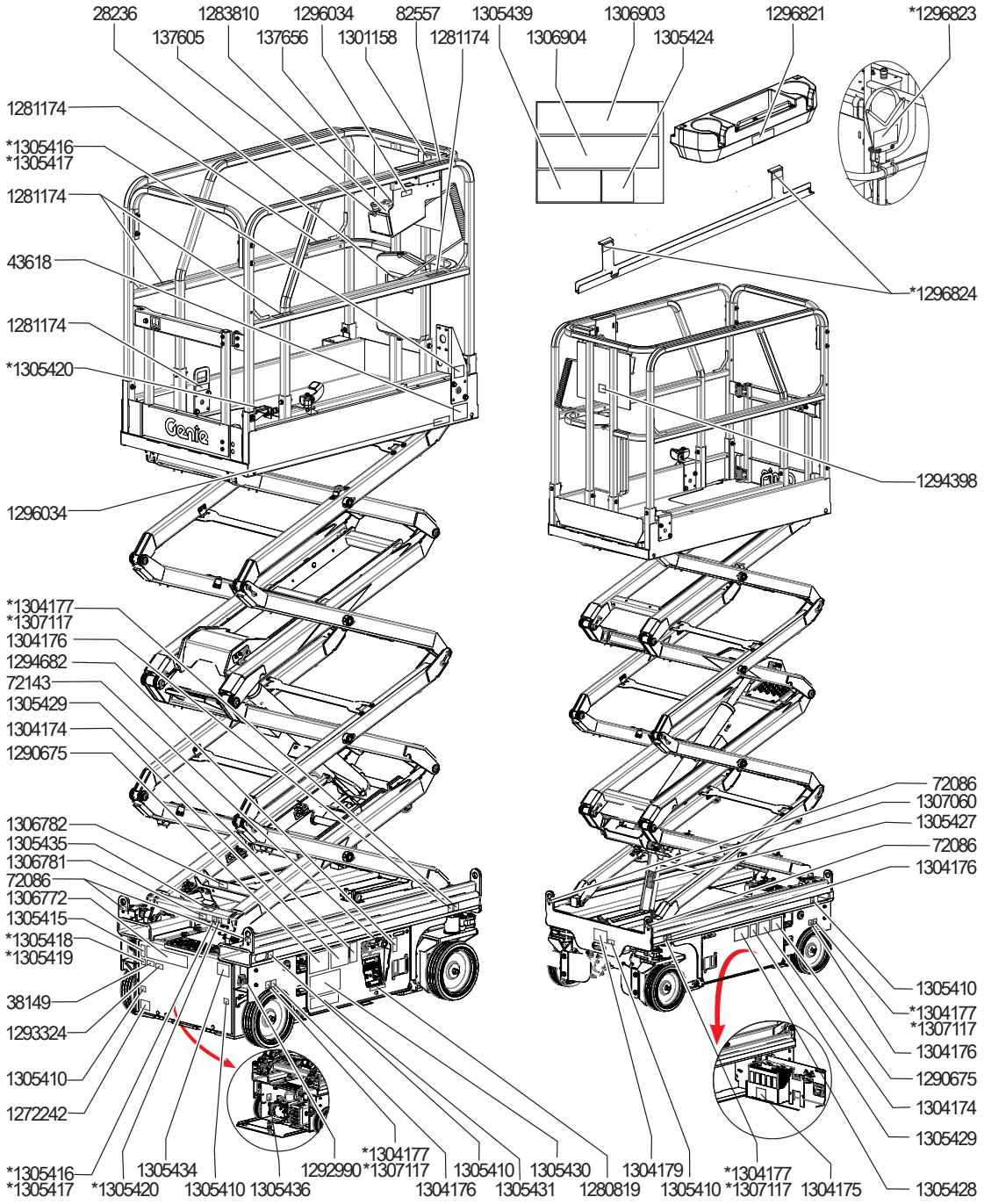
機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	ステッカーの説明	数量
28236	警告 ー 不適切な操作	1
38149	ラベル ー 特許品	1
43618	ラベル ー 方向矢印	1
72086	ラベル ー 吊り上げ点	4
72143	ラベル ー 非常停止	1
82557	ラベル ー 作業台操作場所	1
137605	ラベル ー 緊急停止、作業台操作	1
137656	ラベル ー 走行・ステアリング方向、作業台操作	1
1272242	ラベル ー 機械の登録/所有権の譲渡	1
1280819	ラベル ー 警告、がんと生殖害、Prop 65	1
1281174	ラベル ー 安全帯固定箇所、転倒阻止/転倒防止*	5
1283810	ラベル ー 作業台操作パネル	1
1283878	ラベル ー Tech Pro Link	1
1290675	危険 ー 爆発/やけどの危険	2
1292990	ラベル ーブレーキ解除	1
1293324	ラベル – ICES-2/CAN-2 規制	1
1294398	ラベル ー ANSI/CSA 準拠	1
1294682	ラベル ー 地上操作パネル、GS-1330m	1
1296034	ラベル – Smartlink 二重ゾーン	2
1296821	ステッカー ー 警告、ツールボックス	1
1296823	ステッカー ー 警告、パイプクレードル*	2
1296824	ステッカー ー 警告、パネルキャリアー*	2
1301158	ラベル ー 故障コード	1
1304174	ステッカー ー 転倒の危険、バッテリー、GS-1932m	2
1304175	ステッカー ー 指示、バッテリー接続、GS-1932m	1
1304176	ステッカー ー ラベル、タイヤスペック、GS-1932m	4
1304177	ラベル ー 輪荷重、GS-1932m*	4
1304179	ラベル ー 輸送図、GS-1932m*	1
1305410	ラベル ー 輸送用の荷締め*	5
1305415	ラベル ー 充電状況表示*	1
1305416	ラベル ー 作業台への電力、115V*	2
1305417	ラベル ー 作業台への電力、230V*	2
1305418	ラベル ー 充電器への電力、115 UK*	1
1305419	ラベル ー 充電器への電力、230V EU*	1
1305420	ラベル ー Airline 7.58 バール*	2
1305424	ラベル ー 方向矢印*	1
1305427	ラベル ー 危険、安全アームを使用*	1
1305428	ラベル ー 指示、充電器の操作*	1
1305429	ラベル ー 不適切な操作、ミニ*	2
1305430	ラベル ー 危険、感電の危険、GS、ミニ*	1
1305431	ラベル ー 操作手順、GCON*	1
1305434	ラベル ー 危険、ブレーキ解除の安全性*	1
1305435	ラベル ー 緊急下降*	1
1305436	ラベル ー Chevron Rando*	1
1305439	ラベル ー 危険・警告コンボ*	1
1306772	ラベル ー コンボ、感電の危険、年次検査、コンパートメントへのアクセス、輸送手順	1
1306781	ラベル ー 油圧トレイオープン図	1
1306782	ラベル ー 危険。スイッチを改造しないでください、ミニ	1
1306903	ラベル ー コンボ、チップオーバーハズ、作業台過重量、最大容量、最大側面力	1
1306904	ラベル ー コンボ、感電の危険、転倒の危険、傾斜アラーム*	1
1307060	ラベル ー 安全アーム、ミニ	1
1307117	ラベル ー 輪荷重、GS-1432m*	4

■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例:カバーの下など) 。

* これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

点検


28236
1283810
1296034
82557
1305439
1306903
1296821
*1296823
137605
137656
1301158
1281174
1306904
1305424
1281174
*1305416
*1305417
1281174
43618
*1296824
1281174
*1305420
1294398
1296034
*1304177
*1307117
1304176
1294682
72143
1305429
1304174
1290675
72086
1307060
1305427
72086
1304176
1306782
1305435
1306781
72086
1306772
1305415
*1305418
*1305419
1305410
*1304177
*1307117
1304176
1290675
1304174
1305429
38149
1293324
1305410
1272242
*1305416
*1305417
*1305420
1305434
1305410
1305436
1292990
*1304177
*1307117
1305410
1304176
1305430
1305431
1304179
1280819
*1304177
*1307117
1305410
1304175
1305428

点検

シンボル付きステッカーの点検

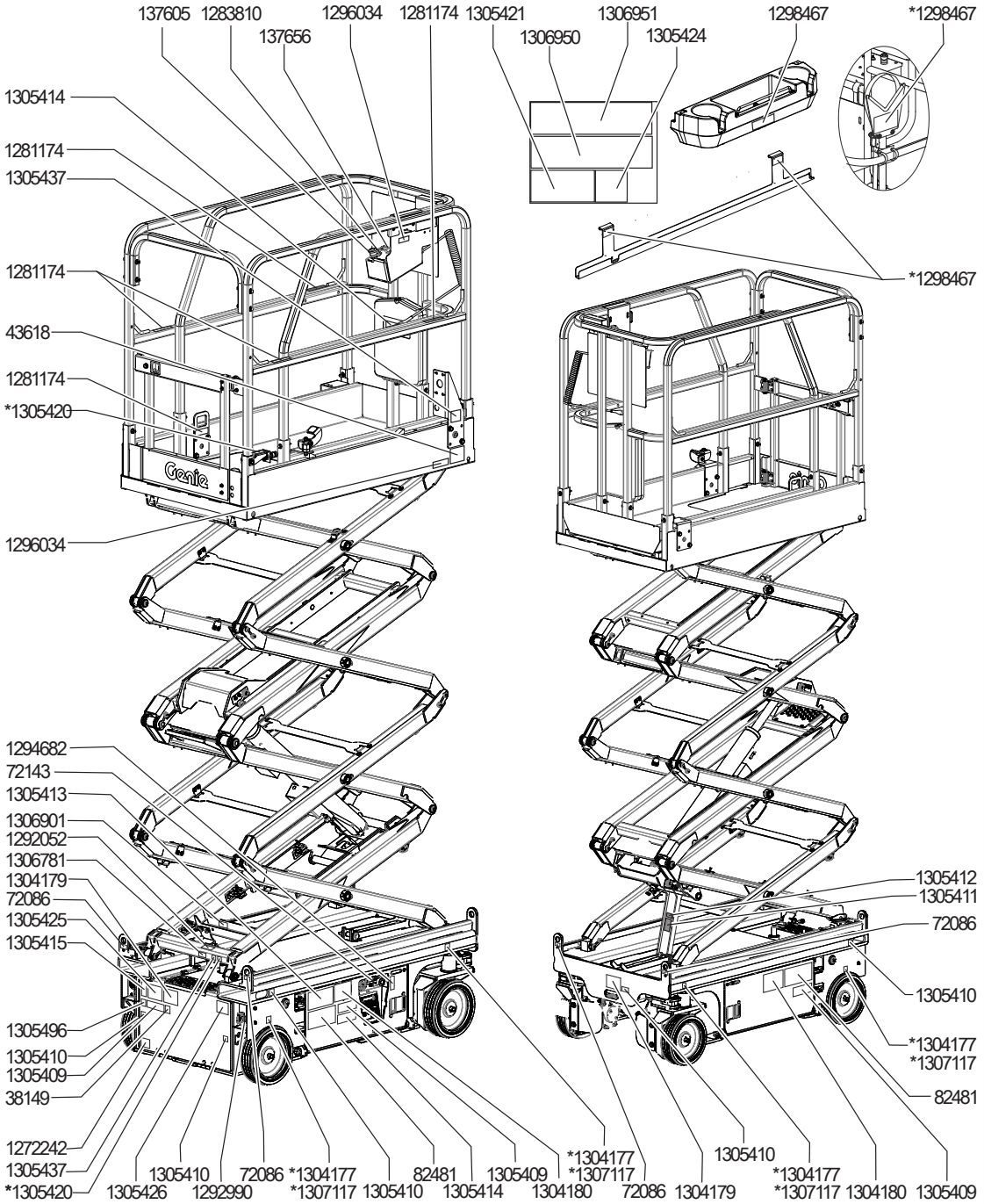
機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	ステッカーの説明	数量
38149	ラベル – 特許品	1
43618	ラベル – 方向矢印	1
72086	ラベル – 吊り上げ点	4
72143	ラベル – 非常停止	1
82481	ラベル – バッテリー/充電器の安全	2
137605	ラベル – 緊急停止、作業台操作	1
137656	ラベル – 走行・ステアリング方向、作業台操作	1
1272242	ラベル – 機械の登録	1
1281174	ラベル – 安全帯固定箇所、転倒阻止/転倒防止	5
1283810	ラベル – 作業台操作パネル	1
1292052	ラベル – GS-1330m の緊急下降	1
1292990	ラベル –ブレーキ解除	1
1294682	ラベル – 地上操作パネル、GS-1330m	1
1296034	ラベル – Smartlink 二重ゾーン	2
1298467	ラベル – マニュアルを読む*	5
1304177	ラベル – 輪荷重、GS-1932m*	4
1304179	ラベル – 輸送図、GS-1932m*	2
1304180	ラベル – 転倒の危険、バッテリー、GS-1932m*	2
1305409	ラベル – コンパートメントへのアクセス	3
1305410	ラベル – 輸送用の荷締め	5
1305411	ラベル – ハザード、安全アーム、シンボル	1
1305412	ラベル – 安全アーム、シンボル	1
1305413	ラベル – 危険、感電の危険	1
1305414	ラベル – マニュアルを読む	2
1305415	ラベル – 充電状況表示	1
1305420	ラベル – Airline 7.58 バール*	2
1305421	ラベル – 転倒の危険、傾斜アラーム	1
1305424	ラベル – 方向矢印*	1
1305425	ラベル – 感電の危険、プラグ	1
1305426	ラベル – ブレーキ解除の安全性と操作手順	1
1305437	ラベル – 作業台への電力、Aktio*	2
1305496	ラベル – 充電器への電力、Aktio*	1
1306781	ラベル – 油圧トレイオープン図	1
1306901	ラベル – 転倒の危険、リミットスイッチ	1
1306950	ラベル – 作業台過重量、最大容量、最大側面力	1
1306951	ラベル – 感電の危険、危険、警告	1
1307117	ラベル – 輪荷重、GS-1432m*	4

■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例:カバーの下など) 。

* これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

点検


137605
1283810
137656
1296034
1281174
1305421
1306950
1306951
1305424
1298467
*1298467
1305414
1281174
1305437
*1298467
1281174
43618
1281174
*1305420
1296034
1294682
72143
1305413
1306901
1292052
1306781
1304179
72086
1305425
1305415
1305496
1305410
1305409
38149
1272242
1305437
*1305420
1305426
1305410
1292990
72086
*1304177
*1307117
1305410
82481
1305414
1305409
*1304177
*1307117
1304180
72086
1304179
1305410
*1304177
*1307117
1304180
1305409
1305412
1305411
72086
1305410
*1304177
*1307117
82481

操作手順



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことは、オペレータの任務です。

作業員を工具や機材と一緒に高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許可されます。複数のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、オペレータの安全および責任に関するマニュアルの安全規則と手順にすべて従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

操作手順

非常停止

地上もしくは作業台操作パネルの赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) にし、すべての機能を停止します。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で作動する機能は修理する必要があります。

補助下降

1 補助下降ノブを引いて、作業台を下降します。

地上からの操作

1 機械の操作前にバッテリー パックが接続されていることを確認します。

2 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

3 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

作業台を配置する

1 操作パネルでは入力ボタンを押して、屋内と屋外の操作範囲を切り替えます。

2 リフト機能作動ボタンを押したままの状態にします。

3 作業台上昇または作業台下降ボタンを押します。

作業台からの操作

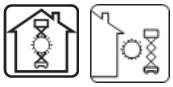
1 機械の操作前にバッテリー パックが接続されていることを確認します。

2 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

3 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

作業台を配置する

1 屋内または屋外使用ボタンを押します。



注記:操作範囲が選択されていない場合は、屋外での操作範囲が自動的に選択されます。

2 リフト機能作動ボタンを押します。LED 画面では、リフト機能シンボルの下に丸印が表示されます。



リフト機能ボタンを押して、7 秒以内にコントロールハンドルが操作されない場合には、リフト機能シンボルの下の丸印は消え、リフト機能は作動しません。再度、リフト機能作動ボタンを押します。

3 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

4 ペダルスイッチ装備の機械の場合:ペダルスイッチを押したままにし、コントロールハンドルの機能作動スイッチを同時に押します。

5 操作パネル上に示された方向にコントロールハンドルを動かします。

操作手順

操舵

1 走行機能ボタンを押します。LED 画面では、走行機能シンボルの下の丸印が点灯します。

走行機能ボタンを押しても、コントロールハンドルが 7 秒以内に動かない場合には、走行機能シンボルの下の丸印が消えて、走行機能は作動しません。再度、走行機能ボタンを押します。

2 ペダルスイッチを押したままにします（搭載されている場合）。

3 ステアリング ホイールをコントロール ハンドルの先端にあるサムロッカースイッチで回します。



走行

1 走行機能ボタンを押します。LED 画面では、走行機能シンボルの下の丸印が点灯します。

走行機能ボタンを押しても、コントロールハンドルが 7 秒以内に動かない場合には、走行機能シンボルの下の丸印が消えて、走行機能は作動しません。再度、走行機能ボタンを押します。

2 ペダルスイッチ装備の機械の場合：ペダルスイッチを押したままにし、コントロール ハンドルの機能作動スイッチを同時に押します。

3 速度を上げるには、次の操作を行います。コントロール ハンドルを中心の位置からゆっくりと動かします。

速度を下げるには、次の操作を行います。コントロール ハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。

停止するには、次の操作を行います。コントロール ハンドルを中心に戻すか、または、機能作動スイッチを離します。

作業台操作パネルと作業台の色別された方向矢印を使って、機械の進む方向を確認してください。

作業台が上昇した状態では走行スピードが制限されています。

バッテリー状態は機械の性能に影響します。バッテリーレベル表示ランプが点滅している時、機械の走行速度および機能速度は低下します。

操作手順

走行速度の選択

走行コントロールでは、2 つの異なる走行速度モードで操作することができます。走行速度ボタンのランプが点灯している場合は、走行速度モードが低速になっています。走行速度ボタンのランプが消えている場合は、走行速度モードが高速になっています。

走行速度ボタンを押して、いずれかの走行速度を選択します。



注記：作業台が上昇しているときには、走行速度ボタンのランプは常に点灯しており、これは上昇時の走行速度を示します。

⚠ 傾斜面における走行

機械に対する縦傾斜および横傾斜の定格勾配を確認し、傾斜勾配を判断します。

最大定格勾配、収納状態：



GS-1432m、GS-1932m	25%	14°

最大定格横勾配、収納状態：



GS-1432m、GS-1932m	25%	14°

注記：定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。

傾斜勾配の確認：

デジタル傾斜計を使用するか、あるいは以下の手順で傾斜を測定します。

必要なものは以下のとおりです。

- 水準器
- 最低 3 ft/1 m の長さの真っ直ぐな木片
- 巻尺

傾斜面の上に木片を置きます。

谷側の端で、木片の上端に水準器を置いた後、木片が水平になるまでその端を持ち上げます。

木片を水平に保ちながら、木片の端の底部から地面までの距離を測ります。

巻尺で測った地面からの距離（高さ）を木片の長さ (水平距離) で割り、その数値に 100 を掛けます。

例：



木片の長さが 144 in (3.6 m) なら、

水平距離 = 144 in (3.6 m)

高さ = 12 in (0.3 m)

12 in ÷ 144 in = 0.083 x 100 = 8.3% 勾配
0.3 m ÷ 3.6 m = 0.083 x 100 = 8.3% 勾配

上り/下り傾斜や横傾斜が最大定格勾配を超える場合は、機械をウィンチで巻き揚げるか、もしくは傾斜面の上または下に運ぶ必要があります。「輸送およびリフト」のセクションを参照してください。

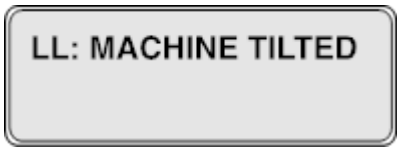
操作手順

操作表示コード

作業台操作パネルの LED または地上操作パネルの LED 診断表示に、LL 等の操作表示コードが表示されている場合、機械操作を再開する前に故障状態を修理または解除する必要があります。赤色の非常停止ボタンを押し込み、次に引き出して、システムをリセットします。



LED 計測器情報



LCD 計測器情報

操作表示コード

コード	状態
LL	水平でない
OL	作業台過負荷
CH	シャーシモード運転
PHS	ポットホールガードのひっかかり
ND	走行なし（オプション）
BR	ブレーキ解除
Ld	リフト機能無効化
OHL	屋外の高さ制限

詳しい情報については該当する Genie サービスマニュアルをご覧ください。コードとコードの説明については、地上操作 LCD 表示でも確認することができます。

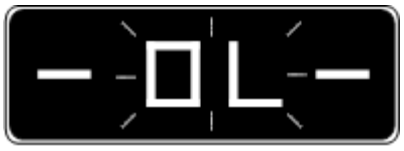
作業台過負荷

作業台操作パネルの LED 診断表示には点滅した OL が表示され、地上操作パネルの LCD 診断表示には、OL が表示されます。OL は作業台過負荷状態（Platform Overloaded）を意味し、作業台が過負荷状態で、すべての機能が作動しません。アラームが鳴ります。

1 赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にします。

2 重量を作業台から取り除きます。

3 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。



LED 計測器情報



LCD 計測器情報

作業台が上昇または下降されている場合、最大の高さに近づいた時点で自動確認機能が実施されます。機械は停止し、アラームが鳴ります。機械が過負荷状態でない場合、通常運転で再開します。

過負荷の復元

地上操作パネルの LCD 診断表示に Overload Recovery（過負荷の復元）と表示された場合は、作業台が過負荷状態の間、補助下降システムが作動します。この表示メッセージをリセットする手順は、適切な Genie サービスマニュアルを参照してください。

操作手順

傾斜センサー動作設定

傾斜センサー作動設定	
シャーシ角度（片側からもう一方側）	1.5°
シャーシ角度（前方から後方）	3°



作業台の上昇中に傾斜アラームが鳴る場合は、作業台を下げ、機械を安定した水平な地面に移動してください。作業台が上昇している状態で傾斜アラームが鳴る場合は、細心の注意を払って作業台を下降してください。



作業台操作パネルの LED 表示には LL と表示され、地上操作パネルの LCD には LL: Machine Tilted（LL: 機械が傾いている) と表示されます。機械が傾斜した状態で、傾斜アラームが毎分 180 回のビープ音を鳴らす場合、次の機能が影響を受けます。走行、操舵、上昇機能が無効になります。

リフト機能を復元するには、水平な地面に機械を移動してください。

コントローラを使った地上からの操作

オペレータ、機械、固定された物体の間に安全な距離を保ってください。

コントローラを使う際、機械が走行する方向に注意してください。

バッテリー レベル表示器

LED 診断計測値を使用して、バッテリー レベルを確認します。

注記：作業台操作 LED 表示上に LO コードが点滅しているときは、機械の使用を中止し、充電しなければなりません。そうしないと機械のすべての機能が働かなくなります。



100% 充電



50% 充電



低充電



LO 点滅

操作手順

安全アームの使用方法

1 作業台を地上約 8 フィート/2.4m から 13 フィート /4.0m まで上昇させます。

2 安全アームをシャーシから上に回転させ、サポートの上で停止させます。

3 安全アームがリンクにしっかり載るまで、作業台を下げます。作業台が降下しているときは、安全アームに近づかないでください。

ガードレールの折りたたみ方

作業台の手摺りには、延長デッキ用の折りたたみ手摺り部分が 3 つとメイン デッキ用の部分が 3 つあります。6 つの各部分は、4 本のワイヤ ロックピンで所定の位置に固定されています。

1 作業台を完全に下げて作業台の延長部分を収納します。

2 作業台操作パネルを取り外します。

3 作業台の内側から、2 本のフロント ワイヤ ロックピンを外します。

4 フロントの手摺りアセンブリを折りたたみます。はさまれる可能性のある場所に手を近づけないでください。

5 取り外した 2 本のピンを各側方手摺りブラケットに戻します。

6 各側方手摺りアセンブリを折りたたみます。はさまれる可能性のある場所に手を近づけないでください。

7 メイン デッキの後方で、2 本のワイヤ ロックピンを外します。

8 ゲートを注意して開け、地面まで動かします。

9 リア ゲートおよび出入口側手摺りを折りたたみ、1 つにまとめます。はさまれる可能性のある場所に手を近づけないでください。

10 左右の側方手摺りを折りたたみます。はさまれる可能性のある場所に手を近づけないでください。

11 取り外した 2 本のピンを各側方手摺りブラケットに戻します。

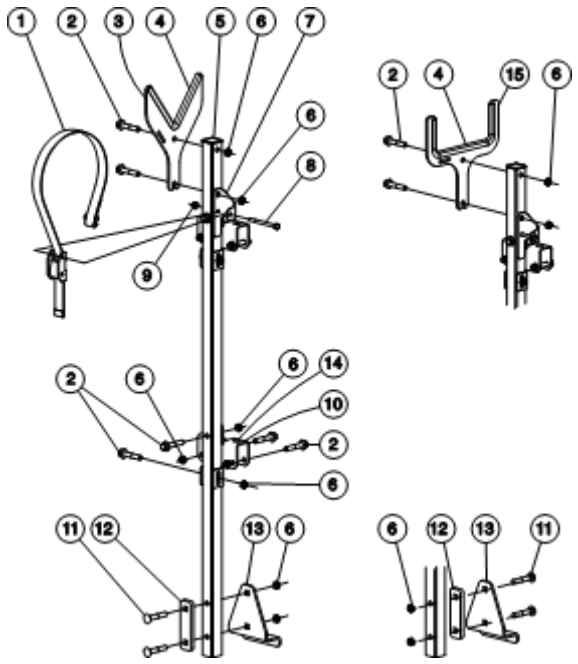
ガードレールの上げ方

折りたたみ手順に従いますが、逆の順序で行ってください。すべてのロックピンが正しい位置にあり、適切に設置されていることを確認します。

操作手順

Lift Tools パイプクレードルの手順

Lift Tools パイプクレードルのアセンブリは、作業台の両側に配置され、U ボルトでガードレールに取り付けられた 2 つのパイプクレードルで構成されます。



1 ストラップ
2 ボルト、3/8-16 x 2"
3 クレードル
4 エッジトリム
5 キャップ
6 ナット、3/8-16
7 ストラップ締め金
8 ボルト、1/4-20 x 3.25"
9 ナット、1/4-20
10 ピンブラケット
11 キャリッジ・ボルト、3/8-16 x 2.25"
12 スペーサー
13 フットマウント
14 ラバーバンパー
15 大型パイプクレードル

必ず以下に従うこと。

☑ Lift Tools パイプクレードルを作業台の内側に取り付けてください。

☑ Lift Tools パイプクレードルは、Lift Tools ワークトレイとリフトガード接触アラームを除いて、他のオプションと一緒に使用することはできません。

☑ Lift Tools パイプクレードルが、作業台コントロールあるいは作業台の出入口の妨げにならないようにしてください。

☑ Lift Tools パイプクレードルのアセンブリは、屋内での使用のみに制限されています。

☑ Lift Tools パイプクレードル・オプションが使用されている場合、作業台は 1 人に制限されます。

☑ Lift Tools パイプクレードル・チューブの下部フットマウントはが、作業台トーボードに載っている状態にしてください。

☑ Lift Tools パイプクレードルが作業台に固定されていることを確認してください。

Lift Tools パイプクレードルの取り付け

1 ゴム製バンパーが手すりに着地するまで、手すり取り付けブラケットをスライドさせます。

2 フットマウントブラケットのボルトを締めます。

3 手すり取り付けブラケットのボルトを締めます。

操作手順

Lift Tools パイプクレードルの使い方

1 積荷を両方の Lift Tools パイプクレードルに載るように置きます。積荷の長さは、作業台の長さと平行で、Lift Tools パイプクレードルの中央に配置する必要があります。

2 積荷をそれぞれの Lift Tools パイプクレードルに固定します。ナイロンストラップを積荷の上にかけます。バックルを押してストラップを通します。ストラップを締めます。

3 積荷をゆっくり押したり引いたりして、Lift Tools パイプクレードルと積荷が固定されていることを確認します。

4 機械が動いている間、積荷をしっかり固定したままにしてください。

Lift Tools パイプクレードル・アセンブリの重量
25 lbs/11.4 kg

Lift Tools パイプクレードルの最大積載重量	
GS-1432m、GS-1932m	215 lbs 97.5 kg

⚠ 転倒の危険。Lift Tools パイプクレードルのアセンブリと Lift Tools パイプクレードル内の積荷の重量は、機械の定格作業台積載荷重量に含まれるため、作業台に載せることのできる積荷の合計荷重量は小さくなります。

⚠ 転倒の危険。Lift Tools パイプクレードルのアセンブリと Lift Tools パイプクレードルの積荷の重量によって、作業台の最大作業員数が制限される可能性があります。

大型パイプクレードルの最大積載重量最大直径 6"。耐荷重については荷重表を参照してください。

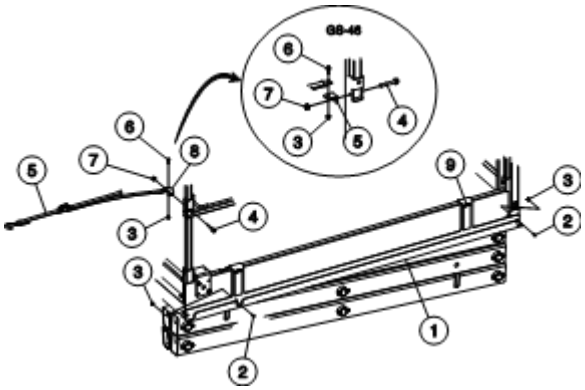
適切な指示があり、パイプを持ち上げることに関連するすべての危険を認識していない限り、操作しないでください。

機械に水平力あるいは側面荷重を与える原因になるので、固定されている積荷やぶら下っている状態の積荷を上下に移動させないでください。

Lift Tools パイプクレードルを取り付けた状態でユニットを運搬しないでください。ユニットを運搬する前に、アセンブリ全体を取り外してください。

パネルキャリアーの手順

Lift Tools パネルキャリアのアセンブリは、キャリア・アセンブリとストラップ・アセンブリで構成されています。



1 キャリアー

2 キャリッジ・ボルト、1/4-20 x 0.75"

3 ナット、1/4-20

4 ボルト、3/8-16 x 2.25"

5 ストラップ

6 ボルト、1/4-20 x 0.75"

7 ナット、3/8-16

8 アンカー、ストラップ

9 ステッカー、警告

操作手順

必ず以下に従うこと。

☑ Lift Tools パネルキャリアを作業台の左側に取り付けてください。

☑ Lift Tools パネルキャリアは、Lift Tools ワークトレイ以外のオプションと一緒に使用することはできません。

☑ Lift Tools パネルキャリアが、作業台コントロールあるいは作業台の出入口の妨げにならないようにしてください。

☑ Lift Tools パネルキャリアは、屋内での使用のみに制限されています。

☑ Lift Tools パネルキャリア・オプションが使用されている場合、作業台は 1 人に制限されます。

☑ Lift Tools パネルキャリアが作業台にしっかり固定されていることを確認してください。

パネルキャリアーの取り付け

1 キャリア（1）を左側のプラットフォームの底部フランジに掛けます。

2 2、1/4"・キャリッジボルト（2）とロックナット（3）でキャリアを固定します。

3 取り付けタブ（8）をフロント・レールポストに取り付けます。3/8" ボルト（4）とナット（7）が付属しています。

4 ストラップ（5）を取り付けタブに取り付けます。

パネルキャリアー・ストラップの取り付け

1 クランプを開き、1/4" x 0.75"ボルト（6）で取り付けタブに取り付けます。

2 ストラップ・アセンブリのエンドプレートをボルトに取り付けます。

3 クランプのもう一方の側にボルトを挿入します。

パネルクレードルの使い方

1 積荷を Lift Tools パネルキャリアの中央に載るように置きます。

2 ストラップを使って積荷の前に通し、作業台の後部付近の上部レールの周りに S フックを固定して作業台に固定します。

3 積荷をゆっくり押したり引いたりして、パネルキャリアと積荷が固定されていることを確認します。

4 機械が動いている間、積荷をしっかり固定したままにしてください。

Lift Tools パネルキャリアのアセンブリ重量は 22 lbs/10 kg です。

Lift Tools パネルキャリアの最大容量荷重表

GS-1432m、GS-1932m	100 lbs 45.4 kg

⚠ 転倒の危険。Lift Tools パネルキャリアのアセンブリと Lift Tools パネルキャリアの積荷の重量は、機械の定格作業台積載荷重量に含まれるため、作業台に載せることのできる積荷の合計荷重量は小さくなります。

⚠ 転倒の危険。Lift Tools パネルキャリアのアセンブリと Lift Tools パネルキャリアの積荷の重量によって、作業台の最大作業員数が制限される可能性があります。

⚠ 許容される最大パネル面積：高さ 4 フィート x 長さ 8 フィート。耐荷重については荷重表を参照してください。

適切な指示があり、パネルを持ち上げることに関連するすべての危険を認識していない限り、操作しないでください。

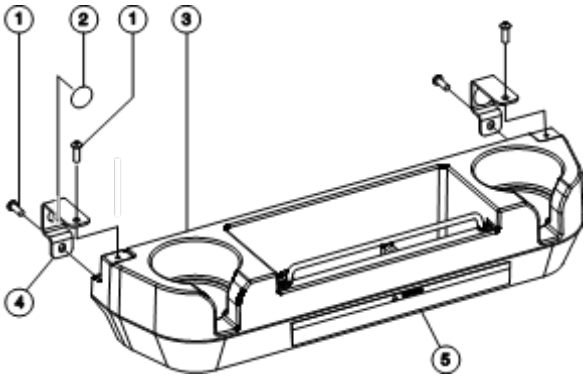
機械に水平力あるいは側面荷重を与える原因になるので、固定されている積荷やぶら下っている状態の積荷を上下に移動させないでください。

Lift Tools パネルキャリアを取り付けた状態でユニットを運搬しないでください。ユニットを運搬する前に、アセンブリ全体を取り外してください。

操作手順

Lift Tools ワークトレイの手順

Lift Tools ワークトレイのアセンブリにはトレイ 1 つ、金具付き取り付けブラケット 1 つが含まれます。



1 ボルト、1/4-20 x 0.75"

2 ラバーバンパー

3 Lift Tools ワークトレイ

4 ツールトレイブラケット

5 ステッカー、警告

必ず以下に従うこと。Lift Tools ワークトレイの設置

☑ Lift Tools ワークトレイは作業台の内側に取り付けてください。

☑ 機械 1 台につき 1 つの Lift Tools ワークトレイを使用することができます。

☑ Lift Tools ワークトレイを PCON の反対側の延長デッキ・レールに取り付けます。

☑ Lift Tools ワークトレイは、上部レールまたは下部レールのいずれかに配置できます。

☑ Lift Tools ワークトレイが作業台にしっかり固定されていることを確認してください。

☑ Lift Tools ワークトレイの安全帯はツールの固定のみに使用します。作業員の安全帯を装着しないでください。

Lift Tools ワークトレイの設置

1 4 本の 1/4-20 x 0.75 ボルト(1)を締めます。

操作手順

Lift Tools ワークトレイの操作

1 積荷を Lift Tools ワークトレイの内側に載るように置きます。

Lift Tools ワークトレイのアセンブリ重量は 4 lbs/1.8 kg です。

Lift Tools ワークトレイの最大積載重量は 50 lbs/23 kg です。

⚠ 転倒の危険。Lift Tools ワークトレイのアセンブリと Lift Tools ワークトレイの積荷の重量は、機械の定格作業台積載荷重量に含まれるため、作業台に載せることのできる積荷の合計荷重量は小さくなります。

作業台の高さの制限事項

作業台の高さ制限により、作業台を特定の高さに制限することができます。

必ず以下に従うこと。作業台の高さ制限

☑ 作業台の高さ制限に記載されているすべての警告と指示を読み、理解し、それに従ってください。

作業台の高度制限操作

高さを制限するには:

注記:ユーザーの最大高さオプションをオンにする必要があります。サービスおよび修理マニュアルを参照してください。

1 作業台操作で、作業台を目的の最大高さまで上げます。

2 作業台操作でリフト機能選択ボタンを 5 秒間押し続けます。

3 作業台の最大高さ制限は、次の場合に有効になります。

   a 作業台制御LEDは「LoHt」を表示します。

   b アラームのビープ音が7回鳴ります。

4 使用前に機能テストを実行してください。

操作手順

高さ制限を解除するには

1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

2 地上操作で赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。

3 作業台操作で、赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。

4 リフト機能選択ボタンを任意の高さで 5 秒間押し続けます。

5 作業台の最大高さ制限は、次の場合に解除されています。

   a 作業台制御LEDは「FLHt」を表示します。

   b アラームのビープ音が7回鳴ります。

作業台の高さ制限をテストするには:

1 リフト作動ボタンを長押ししたままで、作業台上昇ボタンを押します。

⊙ 結果:作業台は、以前に設定された高さまで上昇する必要があります。最大高さ制限に達すると、作業台の移動が停止します。作業台の最大高さ制限に達した後、オペレーターがジョイスティックを上昇方向に 2 秒以上押し続けると、作業台のアラームのビープ音が 1 秒間鳴り、作業台制御 LED に「LoHt」が表示されます。

注記:ユーザー最大高さのオプションをオンにし、高さがあらかじめ設定されている必要があります。

操作手順



バッテリーと充電器の操作手順

必ず以下に従うこと。

☑ 外部充電器またはブースターバッテリーを使用しないでください。

☑ よく換気された場所でバッテリーを充電してください。

☑ 充電器に表示されている適切な AC 入力電圧を使用してください。

☑ Genie 承認のバッテリーと充電器のみを使用してください。

バッテリーの充電

1 充電前にバッテリーが接続されていることを確認します。

2 バッテリーのコンパートメントを開きます。充電中はコンパートメントを開いたままにします。

メンテナンス不要のバッテリー

1 接地されている AC 回路に充電器を接続します。

2 バッテリーが完全に充電されると、充電器に表示されます。

標準バッテリー

1 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー液の量をチェックします。必要に応じて、プレートが隠れる程度に蒸留水を入れます。充電の前には液を入れすぎないでください。

2 バッテリー通気孔のキャップを再び取り付けます。

3 接地されている AC 回路に充電器を接続します。

4 バッテリーが完全に充電されると、充電器に表示されます。

5 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

使用後の注意

1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 作業台を下げます。

3 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

4 バッテリーを充電します。

輸送および持ち上げの手順



必ず以下に従うこと。

☑ Genie は、以下の装置の輸送および設置に関する情報を 1 つの提案として提示します。操縦者は、米国運輸省の規定、地域のその他の規定および自社の方針に従って、機械を正しく固定し、正しいトレーラーを選択することに関して、すべての責任を負っています。

☑ Genie の顧客が任意のリフトまたは Genie 製品をコンテナに収める必要がある場合には、建設用機器およびリフトを国際輸送用に準備、積載、固定する作業の専門知識を持つ、認定された運送会社に依頼してください。

☑ 機械のトラックからの積み下ろしは、認定を受けた可動式上昇作業台の作業員のみが行ってください。

☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。

☑ 機械を載せる際は、輸送車両を動かないように固定してください。

☑ 車両の積載荷重量、積載面、チェーンやストラップが、機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。Genie リフトはそのサイズと比べるとかなりの重量があります。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。

☑ ブレーキを解除する前に、必ず機械を平坦な地面で停止する、または固定してから行ってください。

☑ スナップ ピンを外すとき、レールが落ちないようにしてください。レールが下げられているときは、しっかりとレールを押さえてください。

☑ 機械の定格勾配を超える上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜では、機械を走行しないでください。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。

☑ 輸送車両の荷台の傾斜が上り傾斜と下り傾斜の最大定格勾配を超える場合、機械の積み下ろしの際には「ブレーキ解除操作」の指示どおりにウィンチまたはフォークリフトを使用する必要があります。定格勾配については、「仕様」のセクションを参照してください。

輸送および持ち上げの手順

ブレーキの解除操作、電動走行 オプション

1 機械が動かないよう車輪またはトラックに輪止めをかましてください。



2 シャーシの荷締め箇所にウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

3 地上操作および作業台操作の両方で赤色の非常停止ボタンを引き出して、キースイッチを地上操作の位置に回します。

4 右側のフォークリフトポケットの後端の下にあるブレーキ解除スイッチの位置を確認します。

5 トグルスイッチから保護カバーを外します。

6 図で示されているようにトグルスイッチを動かして、ブレーキを作動します。ブレーキが解除されると、アラーム音が鳴ります。



機械を載せた後は、以下を行います。

1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。

2 地上操作および作業台操作の両方で赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。

3 コントロール ハンドルの走行・ステアリング機能作動スイッチを押したままにします。コントロール ハンドルを中央から動かし、すぐに離して、ブレーキをリセットします。

4 地上操作パネルと作業台操作パネルの赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) にします。

Genie GS1432m および GS1932m の牽引はお勧めしません。牽引しなければならない場合は、2 mph/時速 3.2 km/を超えないようにしてください。

輸送および持ち上げの手順

輸送用トラックあるいはトレーラーへの固定

機械を輸送する際は、必ず延長デッキ ロックを使用してください。

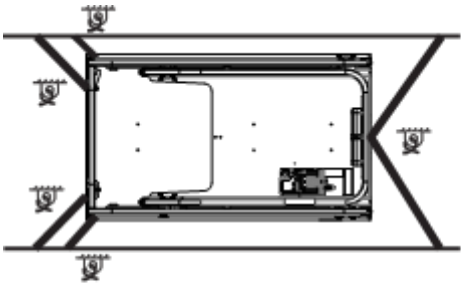
輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

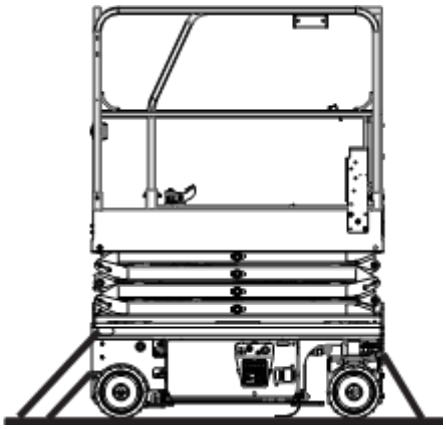
緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。

最低でも 2 組のチェーンまたはストラップを使用してください。

チェーンの損傷を防ぐため、装具を調節してください。





輸送および持ち上げの手順

必ず以下に従うこと。

☑ 機械の組み立ておよび持ち上げを行うときは、必ず認定されている整備工が行ってください。

☑ 機械をフォークリフトで持ち上げる際は、必ず認定を受けたフォークリフト オペレータが行ってください。

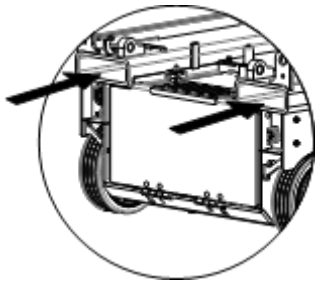
☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやロープが、機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。

フォークリフトによる機械の持ち上げ

延長デッキ、操作パネルおよび部品トレイが固定されていることを確認してください。機械の固定されていない部品はすべて取り外してください。

作業台を完全に下げます。作業台は、積載と輸送のすべての手順を行う間、下げたままにしておく必要があります。

機械の後部にあるフォークリフト ポケットを使用します。



フォークリフト ポケットでフォークリフトのフォークを所定の位置に配置します。

フォークが伸長する限度まで前進します。

機械を 16 in/0.4 m 上昇させ、フォークを後方に少し傾けて、機械の安定を保ちます。

フォークを下げたとき、機械が水平になっていることを確認します。

注意 下から機械を持ち上げると、部品を損傷する場合があります。

輸送および持ち上げの手順

持ち上げの手順

作業台を完全に下げます。延長デッキ、操作パネルおよび部品トレイが固定されていることを確認してください。機械の緩んでいる箇所はすべて取り外してください。

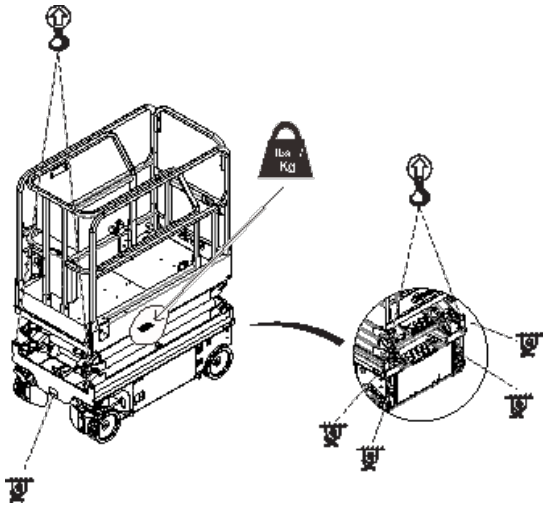
このページの表と図を参考にして、機械の重心を確認してください。

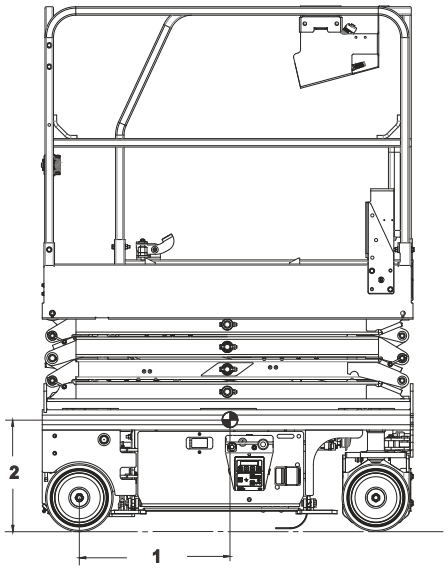
支持材は機械の指定の吊り上げ点にのみ装具を取り付けます。ドライブシャーシの各角には、吊り上げ用の 2.5 cm の穴が開いています。

機械が損傷しないよう、また、機械の水平状態を保てるよう、装具を調節してください。

重心の表（実際の寸法は、機械の構成、オプション、および製造公差によって異なる場合があります。）

モデル	X 軸	Y 軸
GS-1432m	21.85 in 55.5 cm	19 in 48.3 cm
GS-1932m	21.85 in 55.5 cm	18 in 45.7 cm





1	X 軸
2	Y 軸

メンテナンス



必ず以下に従うこと。

☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定メンテナンス項目のみを行います。

☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が、製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

☑ Genie 承認の交換部品のみを使用してください。

メンテナンス記号の説明

以下の記号は、指示の目的をわかりやすくするために使用されています。メンテナンス手順の最初に記載されている記号は、次のような意味を表しています。



この手順を行うために、工具が必要です。



この手順を行うために、新たな部品が必要です。

作動油量の点検



作動油量を適切なレベルにしておくことは、機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品が損傷することがあります。点検担当者は、毎日チェックすることにより、作動油量の変化に気付き、油圧システムでの問題を早期に発見することができます。

1 機械がしっかりとした水平な地面にあり、障害物がなく、作業台が収納された状態であることを確認します。

2 油圧タンクのオイル量を目視点検します。

⊙ 結果：作動油の量は、タンクの ADD（追加）と FULL（満タン）のマークの間を指している必要があります。

3 必要に応じてオイルを補充してください。このときに入れすぎないようにしてください。

作動油の仕様	
作動油タイプ	Chevron Rando HD 相当物

注記：寒冷気候での操作と代替の作動油の情報に関しては、Genie Scissor の保守マニュアルを参照してください。

メンテナンス

バッテリーの点検



バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

⚠ 感電の危険。熱くなっている回路や通電している回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

⚠ 人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

注記:このテストはバッテリーを完全に充電した後に行ってください。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

3 バッテリー固定ブラケットが適切な位置にしっかりと取り付けられているか確認します。

注記:端子プロテクターや腐食防止シーリング剤を使用することによって、バッテリー端子やケーブルの腐食を防止することができます。

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本機械の保守トレーニングを受け認定されている担当者が本機械のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

機械の耐用年数を終えた際には、廃棄や廃車に関する地域や政府の規制をすべて遵守してください。詳細については、該当する Genie サービスマニュアルを参照してください。

仕様

モデル		GS-1432m
高さ、操作時屋外	18 ft 0 in	5.66 m
高さ、作業台屋外	12 ft 0 in	3.66 m
高さ、操作時屋内	20 ft 1 in	6.30 m
高さ、作業台屋内	14 ft 1 in	4.30 m
高さ、収納時最大、手摺りを 上げた状態	6 ft 2 in	1.88 m
高さ、収納時最大に手摺りを折りたたんだ状態	4 ft 11 in	1.49 m
作業台高さ、収納時最大	2 ft 6 in	0.78 m
高さ、手摺り	3 ft 7 in	1.10 m
幅	32 in	0.81 m
長さ、作業台収納時	4 ft 7 in	1.40 m
長さ、作業台延長時	6 ft 7 in	2 m
作業台延長部長さ	24 in	0.60 m
作業台寸法（奥行き x 幅）	4 ft 7 in x 30 in	1.40 m x 0.77 m
最大積載荷重	500 lbs	227 kg
最大風速、屋外	28 mph	12.5 m/s
最大風速、屋内	0 mph	0 m/s
ホイールベース	3 ft 8 in	1.12 m
旋回半径 (外側)	4 ft 6 in	1.37 m
旋回半径 (内側)	0 in	0 cm
最低地上高	2.8 in	7 cm
最低地上高 ポットホール ガード配置時	0.75 in	2 cm
重量	1,984 lbs	900 kg
(機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。)		
電源	バッテリー 12V 115AH、2 個	
システム電圧		24 V
最大油圧力（機能）	1,800 psi	124 バール
タイヤ サイズ	10 x 3 in	25 x 8 cm

周囲操作温度		
最低	-20°F	-29°C
最高	120°F	49°C
最大勾配の定格値、収納状態		25%（14°）
最大定格横勾配、収納状態		25%（14°）

注記：定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。

最大許容外圧力	「傾斜センサー動作設定」の項参照

走行速度		
収納時、最大	2.5 mph	4.0 km/h
作業台上昇時、最大	0.5 mph 40 ft/55 秒	0.8 km/h 12.2 m/55 秒

床荷重表、GS-1432m		
最大輪荷重	937 lbs	425 kg
タイヤ接地圧	143 psi	10 kg/cm^2 988 kPa
車体占有面の平均圧力	203 psf	1,000 kg/m^2 9.73 kPa

注記：床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

仕様

モデル		GS-1932m
高さ、操作時屋外	21 ft 0 in	6.57 m
高さ、作業台屋外	15 ft 0 in	4.57 m
高さ、操作時屋内	24 ft 2 in	7.55 m
高さ、作業台屋内	18 ft 2 in	5.55 m
高さ、収納時最大、手摺りを 上げた状態	6 ft 5 in	1.97 m
高さ、収納時最大に手摺りを折りたたんだ状態	5 ft 2 in	1.58 m
作業台高さ、収納時最大	2 ft 10 in	0.87 m
高さ、手摺り	3 ft 7 in	1.10 m
幅	32 in	0.81 m
長さ、作業台収納時	4 ft 7 in	1.40 m
長さ、作業台延長時	6 ft 7 in	2 m
作業台延長部長さ	24 in	0.6 m
作業台寸法（奥行き x 幅）	4 ft 7 in x 30 in	1.40 m x 0.77 m
最大積載荷重	500 lbs	227 kg
最大風速、屋外	28 mph	12.5 m/s
最大風速、屋内	0 mph	0 m/s
ホイールベース	3 ft 8 in	1.12 m
旋回半径 (外側)	4 ft 6 in	1.37 m
旋回半径 (内側)	0 in	0 cm
最低地上高	2.8 in	7 cm
最低地上高 ポットホール ガード配置時	0.75 in	2 cm
重量	2,600 lbs	1,179 kg
(機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。)		
電源	バッテリー 12V 115AH、2 個	
システム電圧		24 V
最大油圧力（機能）	2,400 psi	165.5 バール
タイヤ サイズ	10 x 3 in	25 x 8 cm

周囲操作温度		
最低	-20°F	-29°C
最高	120°F	49°C
最大勾配の定格値、収納状態		25%（14°）
最大定格横勾配、収納状態		25%（14°）
注記：定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。		
最大許容外圧力		「傾斜センサー動作設定」の項参照

走行速度		
収納時、最大	2.5 mph	4.0 km/h
作業台上昇時、最大	0.5 mph 40 ft/55 秒	0.8 km/h 12.2 m/55 秒

床荷重表、GS-1932m		
最大輪荷重	1,257 lbs	570 kg
タイヤ接地圧	164 psi	10.13 kg/cm^2 1,131 kPa
車体占有面の平均圧力	254 psf	1,238 kg/m^2 12.16 kPa

注記：床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

代理店:

www.genielift.com